

被災時住所： 尼崎市 経産婦  
出産日： 3月19日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

入院が長引く場合上の子供を預かってくれるところに困りました。親はむりで主人は仕事の都合上朝が早く夜は夜中です。にゅういんの時ずっと保育所の友人にあずけ、土、日は友人が地震で親が入院のためかんびょうであずかってもらえないので土、日だけ家に帰り月曜日に家に帰ってくるようにしました。医療も援助も大切だけれど安心して入院できる家のことや子供のことを考えず心配しないで済む方法をお願いします（妊婦の入院の場合は特に家のことが気になります）

被災時住所： 尼崎市 初産婦  
出産日： 3月19日 妊娠週数： 30 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

非常事態などがあった場合出産等その他いろいろとお金もかかるしじぶんがその立場になっても被害などにあればまたそれなりにお金もいるし、援助が必要になるので援助といってもいろいろありますがたとえば出産などしたとき、普通よりお金が安くなるとありがたいです。

被災時住所： 尼崎市 経産婦  
出産日： 3月20日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

幸い今回の地震では何事もなく無事でしたが非常事態の後保健所の方などが巡回していただいたら大変心強く思うのですが。

被災時住所： 尼崎市 経産婦  
出産日： 3月20日 妊娠週数： 39 週  
出産病医院の住所： 尼崎市

普通の時より妊産婦はナーバスになりやすいと思います。ケガの手当はもちろんだけど心のケアも大切だと思うのでその辺もお願いいたします。

被災時住所： 尼崎市 経産婦  
出産日： 3月20日 妊娠週数： 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

ライフラインが寸断された状態であっても病院は水や電気その他の医療器具などは、十分にそなえられてほしい。又、安全で安心してたよれるようにしてほしい。

被災時住所： 尼崎市 初産婦  
出産日： 3月20日 妊娠週数： 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

精神的なショックが与える影響がかなり大きいと思いますので、例えば、特に体調に問題がなくても、日常生活が落ち着くまで、病院でケアしてもらえればと思います。

被災時住所： 尼崎市 初産婦  
出産日： 3月20日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

妊婦なら、だれでも安心して出産したいものです。非常事態になった時かかりつけの病院に行けなくて不安になると思います。そんな時にどこの病院の先生に見てもらっても安心して出産や体に異常があった時にもすぐに見ていただけるそんな病院を望みます。そして、妊婦や赤ちゃんのために、できるだけ、早く十分に栄養のある食事をとれるような、そんな援助などもあるといいと思います。

被災時住所： 尼崎市 初産婦  
出産日： 3月22日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

精神的なダメージが大きかったので全ての面で正確な情報がいち早く知りたい。

被災時住所： 尼崎市 経産婦  
出産日： 3月22日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

電話が送、受信、119番、110番まで全く通じなかったのが大変不安でした。夫は医療従事者で地震の後は出ずっぱりで幼児を二人かかえ、自由にならない身体で大変不安でした。結果として被害なしと同様だった、としても、誰にも頼れずに怖い思いをした人は多いはずです。一時的に身を寄せる場所か、そこまで連れて行ってくれる手段があれば、と切実に思いました。

被災時住所： 尼崎市 経産婦  
出産日： 3月23日 妊娠週数： 36 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

すぐに連絡がとれるようにしてほしい。心のケアが大事だと思う。

被災時住所： 尼崎市 初産婦  
出産日：3月23日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

妊娠中はそれまで順調にきていても災害などでまわりがあわただしくなると不安になったりするので、臨時で先生に診てもらえる場所を作ってもらえると精神的に安心だと思います。（助産婦さんや先生が回診してもらえともっとうれしいですがムリですよ）

被災時住所： 尼崎市 初産婦  
出産日：3月23日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

地震のときとてもこわかったです。主人が家にいるときはそうでもありませんがやはり仕事にでてしまうとまたゆれたらどうしようと、そればかり考えて落ち着きませんでした。ああいった場合少しでも落ち着けるような場所があればと思いました。それと大きなお腹で買い物に行っても食べ物が不足していたりスーパーなどがあいてなかったりでこの先食べていけるのか不安でした。あっても他のお客とおしあいへしあいでお腹をおされたらどうしようかなどとても気になりました。私は隣の奥さんがかわりにこみあう場所のものはかってきてくれましたが私一人だったらかえなかっただろうなと思います。

被災時住所： 尼崎市 経産婦  
出産日：3月23日 妊娠週数：38週 帝王切開  
出産病医院の住所： 尼崎市

大きな病院は、とくに1回の検診に行くとい日仕事ですごく時間がかかるのに中によばれて見ってもらう時間が少ない用です。地震のあとも小さな病院が検診できないために大きな病院へみんなうつってきたせいでよけいに時間がかかりました妊娠中は、とくに気分もすぐれないのにずっとおなじしせいで座っているのは、とてもつらいです。

被災時住所： 尼崎市 経産婦  
出産日：3月24日 妊娠週数：40週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

出産間近の場合は特にもし予定している病院に行けないときすぐどこかの病院を紹介していただく体制がほしいのではないかなと思う。

被災時住所： 尼崎市 初産婦  
出産日：3月24日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

今回、困った事は食糧、水がなかった事です。あと、お風呂に入れなかったので、衛生的な面で心配しました。このような事でとても不安だったので、病院や保健所等から連絡してきて、その場で意見を聞いてほしい。

被災時住所： 尼崎市 初産婦  
出産日：3月25日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

子どもが生まれる前だったのであまりじっかんしなかったが赤ちゃんがうまれて母乳がでなくなったときのことを考えたら粉ミルクにたよるしかないわけですがガスや電気もないと作れないので離乳食やミルクのことを考えてほしい。

被災時住所： 尼崎市 初産婦  
出産日：3月25日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

一般の人とは別にひなん場所を作って欲しい。

被災時住所： 尼崎市 経産婦  
出産日：3月25日 妊娠週数：37週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

おう診など病院の通院する時大変車が困雑してたり、病院の中も困雑していたので……

被災時住所： 尼崎市 初産婦  
出産日：3月27日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

病院内だけでも停電はさけてほしい。

被災時住所： 尼崎市 初産婦  
出産日：3月27日 妊娠週数：40週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 神崎郡

検診を受けたくても受けられない人たちの為の出張検診を、すばやく、行っていたら 妊産婦さんのお子に対する不安や心配を少しはとりのぞけると思いますが。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 3月28日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市  
せんじょうめんがほしい。清けつにしと  
きたいから。

被災時住所: 尼崎市 経産婦  
出産日: 3月28日 妊娠週数: 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

地震後見えないだけにお腹の赤ちゃんは  
大丈夫なのかなという心配がすこしありま  
した。私の場合2人目だったので気持ちに  
余裕がありましたが初産婦の場合はもっと  
不安だったでしょう。だから病院までいか  
なくとも近くの避難所でエコーがみれるよ  
うに器具があったらいいのにと考えた。

被災時住所: 尼崎市 経産婦  
出産日: 3月28日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

自然災害なので突然やってきます。いつ  
でもきんきゅうにそなえて対応でき常にリ  
レー式でも医療機関の連絡がとれるよう  
に、あとは新生児になにか異常があった場  
合すぐ処置ができるようにこころのケアに  
ついて大切だと思います。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 3月28日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

常時産院があけてられる災害に強い病院  
を作って欲しい。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 3月29日 妊娠週数: 37週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

いつでも安心して出産できる場所である  
ことを望みます。

被災時住所: 尼崎市 経産婦  
出産日: 3月29日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

安心して生活できるように。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 3月30日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

テレビでみたのですが電車が通っていな  
い線路を8.9か月位の妊婦さんが神戸→西宮  
北口まで歩いている状況がありました。ガ  
ス、水道の状況で大阪の知り合いの家にい  
かれる途中だったのですがインタビューで  
「お腹がはってるんで休憩中です」と言わ  
れていました。私自身7カ月だったのでどれ  
だけ大変だったことかと思えます。あのな  
かでどれだけのチェックができるかと思  
いますが車、ヘリコプター等で移動するこ  
とはできないのかと思いました。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 3月30日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

断水のため給水場まで水をもらいに行き  
ましたが寒かったのと重たいのでとても疲  
れてしまいました。給水所がもう少し近  
ければ思いました。

被災時住所: 尼崎市 経産婦  
出産日: 3月30日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

避難所で暮らすのはお母さんにもおなか  
の赤ちゃんにも絶対よくないと思う。産後  
も同じく、紙おむつやミルクはいち早く支  
給して欲しい。

被災時住所: 尼崎市 経産婦  
出産日: 3月30日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

水・電気がとまるなどで出産などに困難  
をきたすので緊急事態に備えて、最低確保  
してほしい。今回の地震で不安を感じた。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 3月30日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

やっぱり、水、ガスが使えないので、お  
茶とバランスのとれた食事。水もでないか  
ら、水すらのめないし、ガスもレンジも使  
えないので、せっかくいままでガンバッ  
て、体のかんりをしてきたのに、ローソ  
ンなどで、ジュースや、おかし、などをか  
つてたべるしかなかったから、むくんで病  
院で注意された。

被災時住所: 尼崎市 経産婦  
出産日: 3月31日 妊娠週数: 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市  
その場になってみないとわからないと思います。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 3月31日 妊娠週数: 39 週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市  
妊婦、新生児には飲み水等を優先的にまわして欲しい。

被災時住所: 尼崎市 経産婦  
出産日: 3月31日 妊娠週数: 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市  
・病院の確保。  
・病院の衛生。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 3月31日 妊娠週数: 40 週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市  
災害で、通院している病院が開院できなくなっても、受け入れてもらえる病院を紹介してほしい。※今回の地震があった時、同じようにお腹中の大きい友人が神戸の病院(〇〇区)に通院していてその病院が被害が大きかった為、診療できなくなり受け入れてくれる病院を探し回ったから。

被災時住所: 尼崎市 経産婦  
出産日: 4月1日 妊娠週数: 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市  
精神的なケア。

被災時住所: 尼崎市 経産婦  
出産日: 4月1日 妊娠週数: 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市  
今回の地震の時、妊婦に対しての検診などはわりと早くに行われていた様に思いますが、私はむしろ、産婦の方が体も元にもどってなくて、赤ん坊をかかえての非常事態を乗り越えるのは大変だと思います。そのケアを考えてみてほしいです。

被災時住所: 尼崎市 経産婦  
出産日: 4月3日 妊娠週数: 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市  
検診、入院代等の援助及び精神面での安定できる医療体制を希望する。

被災時住所: 尼崎市 経産婦  
出産日: 4月3日 妊娠週数: 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市  
妊婦さんが安心して入院できるようにしていただきたい。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 4月4日 妊娠週数: 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市  
子供が産まれていたらやはり粉ミルクや紙おむつ等がてにはいりにくくなると思います。

被災時住所: 尼崎市 経産婦  
出産日: 4月4日 妊娠週数: 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市  
まずはおなかのこどもがだいじょうぶなのかがそれが一番心配なので検診をすぐにしてもらいたいです。あとはやっぱり食事や水とお風呂です。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 4月4日 妊娠週数: 42 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市  
産前は精神的ケア、及び住居(避難所)に対しての配慮、食生活に対しても重要に考えて欲しい。  
産後は新生児及び子供のケアが出来るだけの場所で保清面に気配ってまた妊婦がお乳が出るように精神的ケアが必要だと思います。これは妊産婦も大切なことですが小児、老人も重なる部分はありますね。

被災時住所: 尼崎市 経産婦  
出産日: 4月4日 妊娠週数: 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市  
安心して休める場所(先生とすぐに連絡ができるか、先生が交代で常におられるかして欲しい)。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 4月4日 妊娠週数: 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市  
被害をうけて正常に分娩できなかった場合(死産などで)や何かの異常があった場合は全額援助してもらえるなど。

被災時住所: 尼崎市 経産婦  
出産日: 4月5日 妊娠週数: 40週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

医療については検診場所及び医師の手配。そして精神的なケア(助産婦さんなどへの相談場所)

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 4月5日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

今回の地震の時神戸の方で赤ちゃんを生まれた人で住む家のなくなってしまった方が大阪の方へ移る際、交通状態が非常に悪かったというのにゆうせんしてもらえなかったなどということを知りました。私も子供が出来て小さい子をつれた長時間は大変だと思つづく思つたのでもう少しかंगाえていただけないものかと思いました。

被災時住所: 尼崎市 経産婦  
出産日: 4月5日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

- ・妊娠週数で状況は違うと思うが出来れば避難所ではなく産院での受け入れをしてほしい。(通院していない病院でも)
- ・マタニティ用品も常備して欲しい。(1ヵ月くらいマタニティの服で寝ていただれにも借りれないので)
- ・今回の地震で大きなお腹だと思つたように動けないのでお年寄りや体の不自由な方の気持ちが良くわかった。

被災時住所: 尼崎市 経産婦  
出産日: 4月6日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

すぐにみてもらえるお医者様がそばにいてほしい。

被災時住所: 尼崎市 経産婦  
出産日: 4月6日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

- 1.安心して使える水の確保。
- 2.自宅をなくした場合に気がねなく保育ができる場所の確保。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 4月6日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

分娩のあと退院する時期であっても家のつごうでどうしても無理なときは相談の上病院の方でベットをあけてほしい。  
(ベットでなくても場所の一時提供)

被災時住所: 尼崎市 経産婦  
出産日: 4月6日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

まず安心できる様にすばやく検診できる病院を知らせてほしい。自分に異常がなくてもまず安心がほしい。診さつしてもらつて心も落ち着くと思う。援助では安らかに眠れる様考えてほしい。例えばやわらかい布団、ベットなど。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 4月7日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

テレビなどの報道をみていて思ったのですが配給される食事が非常事態なので仕方ないとは思いますが栄養面などかたよっているとしました。又、気候がよくなるにつれ腐るのをふせぐためか塩分が多く使われているのではないかという声も聞かれました。妊娠中毒症にかかり塩分を控えている方も多かったと思つたすすあじの食事を用意できるよう希望します。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 4月7日 妊娠週数: 38週 帝王切開  
出産病医院の住所: 尼崎市

- ・緊急時医療費の無料化。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 4月7日 妊娠週数: 40週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

母子手帳や、保険証などをなくした場合でも、無料ですぐ診察できたらありがたいです。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 4月10日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

水、ミルク、おしめ等の援助。

被災時住所: 尼崎市 経産婦  
出産日: 4月10日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

阪神大震災で思ったのですがそれだけでなく心身が不安なので妊婦さんのカウンセリングなどもっとおこなってほしいと思いました。又産まれた人(その直後)のケアや赤ちゃんのケア(沐浴やミルクやおむつの手配など)などもっと早くにしてあげてほしかったです。こういう事がこれから又いつおこるかかわからないのでこれを機会にいろいろ考えていた抱けたらと思いました。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 4月10日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

安心して休める場所。  
清潔を保てる為のお風呂など、必要最低限のことだけは確保していただきたいです。  
(もちろん食べ物も)

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 4月10日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

精神的に不安なときなどで少しでも早く検診を受け入れるようにしてほしいです。家族がいない時などの避難が1人ではやはり不安があると思います。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 4月10日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

電話が使えず、道路も閉鎖されている中、もし早産の兆候がみられたら、どうしたら良いのかと、不安でした。その意味では一般の救急医療と同様に、そのような事態下で、いかにして医師のいる所へ患者を運ぶのかという問題と思います。

大きな被害はうけなかったのですが、一番つらかったのは、1カ月水道が止まり、エレベーターも使用できないなか、大きなポリタンクを両手に持って階段の上り下りを1日に何度もしなければならなかった事です。幸い異常は出ませんでした。おながよく張ったのは、このせいかもしれません。又、入浴ができなかった事も異常を引き起こさないかと不安でした。医療とは直接関係ないかもしれませんが。

被災時住所: 尼崎市 経産婦  
出産日: 4月11日 妊娠週数: 38週 帝王切開  
出産病医院の住所: 尼崎市

今回の場合は地震でしたのでまた、あのような恐ろしい地震がいつ起こるのか毎日不安のしっばなしでお腹の赤ちゃんがどうかなのではないかというぐらい精神的にもすごいダメージを受けましたので精神的に安心できるような母親教室のようなものを開いてもらいたの妊婦産と励まし合うようにできればいいなと思う。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 4月12日 妊娠週数: 40 週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

私の主人は〇〇市の中学の教職員です。ご存じの通り、学校には避難者があふれ死体の安置場所でもありました。その避難者や死体の管理に交替制とはいえ教職員が24時間つかわれるのです。交通が復旧していませんから一度学校へ向かうと何日も戻ってこれません。わが家だって断水にあわて、食糧確保に忙しいというのにこんな時に主人がいなくなると本当に困るんです。ポリ容器に配給された水も妊婦には負担が大きいのです。よそのお宅は3つ4つとポリ容器を持ってきているのに運べない私はひとつかふたつ。早産なんていってられずバケツの水だって何度も持って階段を昇りました。精神的にはもっと大変でした。余震にはおびえ、主人の安否をきずかい（電話も通じませんでしたから）赤ちゃんの無事を祈りながら当初1週間が本当につらかったように思います。私の場合、お風呂に入れなかったのがガンジタ腔炎のきっかけになり治るまで1カ月程かかったので衛生的には優遇されたかったですが、不可抗力ですし、1週間くらいの食生活ではそんなに影響もなくむしろ体重増加がなく良かったくらいです。精神的なケアが欲しかったです。せめて夜中ぐらい主人と一緒にいれるように職場で配慮してくれるとか、休んでも多めにみてくれるとか、妊婦や小さな子供のいる家庭では核家族が増える中大変です。ボランティア、と看板下げて食糧ばかりまき散らしていますが、食べ物を支給するばかりでなく、必要とされる場所、内容にもっと応じてくれれば我々の負担ももう少し軽かったんじゃないでしょうか。最初の1週間が悪夢のようでした。主人のいないストレスが（今でも仮設住宅等も関係で勤務時間が長いですから）産後も母乳不足になったり赤ちゃんの泣き声にイライラしたりと影響あると思います。2人で赤ちゃんを育てようと実家の援助は受けなかったのが主人の分まで背負った私は産後2カ月はマタニティーブルーだったように思うし、主人とのけんかも耐えなかったです。現在は赤ちゃんの笑顔に励まされしんどさも忘れていますが。

被災時住所: 尼崎市 経産婦  
出産日: 4月13日 妊娠週数: 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

乳児専用の飲料水やおむつ、ミルク特におしりを清潔にしてあげたいのでおしりふきやお湯が必要だと思いました。

被災時住所: 尼崎市 経産婦  
出産日: 4月13日 妊娠週数: 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

一人でこの地震にあわれた方もおられると思います。妊婦を一人にしない何か方法はないのでしょうか。すぐに連絡のつくようなものがあればと思います。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 4月13日 妊娠週数: 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

妊婦には心身の安定が必要と思うので被害の状況や体の異常などすぐに相談できる場所があればいいと思います。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 4月13日 妊娠週数: 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市中央区

私は、尼崎から神戸の病院に通っていましたが、神戸の病院の様子が、全くわかりませんでした。もう7カ月近くになっていましたので、今さら病院を変わるのも考えものでしたし、ものすごく不安でした。とにかく、いち早く情報が欲しいですね。

被災時住所: 尼崎市 経産婦  
出産日: 4月14日 妊娠週数: 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

妊産婦は、やはり1人の身じゃなく、おなかにかかえているので精神的にも、不安定だし…やはり安心できる場所（家）だないとそれと、トイレがすごく近くなるので自分自身も地震直後、何十回とトイレに行きました。トイレの確保も必要だと思います。食べる物も、一時、異常に食べました。地震の次の日だったんですけど、やっぱり、精神的に不安定だったからかなと思います。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 4月15日 妊娠週数: 38週 帝王切開  
出産病医院の住所: 尼崎市

おなかが大きかったのでテレビをみても病院関係特に産婦人科ばかり目につきました。(産婦人科の情報はわりと遅かったような気がする) 赤ちゃんのお風呂、ミルク、おむつ、ふくは不自由のないようにしてほしいです。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 4月15日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

いつ非常事態がおこっても常に万全な体制を整えてほしいです。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 4月16日 妊娠週数: 37週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

- ・通院していた病院等が何らかの理由で(例:交通便の関係等)で行けなくなってしまった場合でも市等に問い合わせる近くの産婦人科を紹介してもらえるように(自分で探すのが難しく判らない場合もあるので)
- ・被害に多くあっても医療費等の援助をしてほしいと思います。妊婦の場合保険がきかないので医療費が高いのでそういう場合大変だと思います。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 4月16日 妊娠週数: 36週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

今回も行われたように避難所への出張診療などがもっと早い時期にあれば安心して心強いとおもいます。電話回線が異常なければ電話によるカウンセリングも出かけて行けない人には良いと思います。

被災時住所: 尼崎市 経産婦  
出産日: 4月16日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

少なくとも市に1つでも非常事態に必ず受け入れてくれる病院などがないようであるなら設けて欲しい。そして公表をして皆がわかるように安心出来れば…

被災時住所: 尼崎市 経産婦  
出産日: 4月26日 妊娠週数: 38週 帝王切開  
出産病医院の住所: 尼崎市

なにもなくても診察するようにすすめてみては。

被災時住所: 尼崎市 初産婦  
出産日: 4月28日 妊娠週数: 27週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

メンタルな部分のケアが重要かと思えます。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 1月17日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

まず、私は、1月17日の午前4:00頃、陣痛が始まり入院した矢先に病院にて地震にあいそしてその日の午後3:45分に出産致しました。私しの場合、特別だと思いますが、まず分娩室はメチャクチャになって暖房がきれた中、毛布やふとんにくるまって震えながら出産いたしました。出産ギリギリまでDrやナースは私のことなどかまって頂けないのが現状で大変こわく、不安でした。医療や援助の希望との事ですが、あのような事態の中では、本当に最新医療やシステムも“無”という感じでした。まず“水”が出なく、飲むことも、シャワーも、もちろんトイレ(人の便の上に自分の便をかきねていく)は、とてもはずかしく、情けなかったです。子供も産湯にもつかれず頭に血がついたまま暖房のかわりに毛布や衣服にて調整しておりましたのでカゼをひかせないだろうか、そして食事がパンやオニギリ2コだけといった中、母乳の栄養面もとても心配で余震で壁が私し達のベッドにパラパラと落ちてくるたびに“もうこのままだめかも”と毎日覚悟して丸産後3日間眠らずにすごしました。そこで「問21の希望」ですが、やはり病院という所だけあってまず水だけはどんな事態にもできるようにそして食事等のもしもの時のルートを県外からかくほして頂きたい。



被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：1月17日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

全国的な救急本部のようなものがあってそこへ、いざという時電話をすれば救急病院の紹介やその場に応じた適当なアドバイスをしてくれるようなシステムがあれば便利ではないかと思う。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：1月18日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

- ・被害の少ない病院への紹介をすばやくしてもらいたい。
- ・出産に対しての不安をとりのぞけるようにする
- ・災害後の精神状態を少しでも非常にとりもどせるよう助産婦さん等の訪問を行い相談などを受ける。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：1月18日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

冬の場合、暖房！（暖房器具、暖かいフットン、毛布、はおるものなど）赤ちゃんへの母乳が出る為の最低限の食事

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：1月19日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市東灘区

私がお世話になった〇〇病院では先生をはじめ助産婦さん、看護婦さん全ての方が本当に親身にケアしてくださり、7ヵ月たった今でも感謝の気持ちで一杯です。私自身当日は実家で下敷きになりひっぱりだされてからは道路に座り込んだり〇〇病院の独身寮で（未入居の）休ませてもらったりしながら夕方に小学校に避難しPM11:00ごろに救護所から運んで頂きました。子宮口3cmでお産が始まっていましたが1月19日AM7:18迄の長いお産になりました。その間もあんな緊急事態のなか、常に声をかけてくださり又、励まして下さった助産婦さんに本当に勇気づけられました。産後心のコントロールができなくなり助産婦さんの前で大泣きしたときも穏やかに話を聞いて下さって嬉しかった。又、他の方も細やかに気づかっていたでいてるのが身にしみてわかりやはり精神面でのケアが重要ではないかと思えます。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：1月19日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

- ・水がほとんどなく（地震の2日後に出産した）産湯にも入れてやれなかったのととてもかわいそうだった。入院中に沐浴が出来ず退院後沐浴に苦労した。
- ・普段はいろいろな行き届いたサービスのある病院も災害の後は大変だと思う。費用については普通とかわらないように思うがどうなのだろうか…

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：1月19日 妊娠週数：40週 吸引分娩  
出産病医院の住所：西宮市

- ・まずトイレがとても困りました。やはり水の確保だけはしっかりとしていただきたいと思えます。
- ・赤ちゃんもお風呂が入れなくてかわいそうでした 水さえあれば電気でもお湯がわかせると思えます。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：1月20日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

かかりつけている病院が診療不能になる場合もあるので、他の病院でも診察してくれると安心です。その場合、かかりつけの病院から紹介してほしい。今回は地震後半日は全く胎動がなく、又、丁度検診日でもあったので病院にTELすると、病院が機能していないので様子を見て下さい、と告げられた。その3日後に出産しましたが、切迫早産で入院安静していたりで…陣痛発来もわかりにくかった。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：1月20日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：姫路市

分娩時に必要な水の確保。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：1月21日 妊娠週数：37週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

R2号線沿いにある病院に行きたいのに震災の緊急車両だけといって自家用車が通れず困りました。最後に119にケンカごして電話してたのみにたのみこんで連れて行ってもらい出産しました。妊婦は急病人ではない扱いの様だったので今後はもっといい対応を望みます。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 1月21日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市東灘区

私の場合は予定日は4日後、しかも6cm子宮がひらいていたのでいつ産まれてもいい状態でしたが地震の為最後の検診を受けたくてもまず・病院が建っているかどうか・もし存在していても検診や分娩をうけさせてくれる状態かどうか（もっと大変な怪我の方を優先させているかも…と思った）がわからず電話で確認したくても電話がつながらず非常に困ったし不安だった。だからもしできるならラジオ、テレビで診療可能（けがだけでなく）な病院等を情報としてながして欲しい（実際私の長男は当日高熱をだし病院をさがしまわった一小児科）

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 1月21日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

1月17日が予定日だったので地震の日が検診日でしたが、診察できる状態でなく、なにかあれば（産気づいたら）来院するようと、言われ、そのまま帰り、少々不安でした。1月19日の検診時、大阪などで、知り合いがいればそちらでのお産もすすめられました。正月あけから子宮口も半分ひらいている状態、交通の便（車）も渋滞でもし車の中で…と思うと動けず病院の機能が少しでももどってからのお産がいいと思ったのでお腹がはると横になったりしました。病院の車、もしくは、公的な車などで安全に（安心して産める病院）送ってもらえれば…と思いました。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 1月21日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

おむつやミルクなどの支給、又は販売。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 1月21日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

電話が不通になり、病院との連絡をとるのに大変だった。又、水がなかったので体を清潔にするのに苦労した。こういう点をまず考えてほしい。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 1月21日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

陣痛が来て、無事に病院までたどり着くかどうか不安でした。渋滞がひどかったので…。あとは、特にありません。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 1月22日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

分娩中に非常事態がおこったときの設備の充実。入院中の母子の安全を守る指導など、日頃から医師と助産婦が話し合っていてほしい。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 1月22日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

私のすんでいる西宮市の北部地区では病院等が少なく「宝塚」や「神戸の北区」まで出ないと大きな病院はありません。こういった地区に病院をお願いします。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 1月22日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

普段は過剰なほどに衛生的に過ごす出産直前後が不衛生とまではいなくてもおおざっぱになってしまい（特に水がつかえない）不安を感じます。新生児をきれいにしてやれないのがかわいそうです。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 1月22日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 芦屋市

親切にして下さればそれだけでじゅうぶんです。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 1月22日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

どこの医療機関でも受け入れるようにしてほしい。非常時に予期せぬ事態になったとき駆け込んだ病院で何とか対応してほしい（突然の出血や分娩開始など）通常のように断らないでほしい。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：1月22日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

やはり、自分の事よりも赤ちゃんの事を第一に考えていただきたいと思います。今回の様に、道路をつかえない場合に、なるべく、病院が受け入れてくれる様に、してもらえればと思います。せめて、病院食はもう少し力のつくものを希望します。産婦の方には特に、おっぱいの出が全然ちがいますので。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：1月22日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

里帰り出産を予定しておりましたが、上の子の幼稚園の都合でぎりぎりまで西宮にいました。地震当日やはりおなかの張りも感じ市内いろいろな医院にTelしました。つながらない、つながっても通院していないとダメ、手がまわらない、家で産みなさい！不安はつのるばかりでした。少ししてからTV、ラジオで、どこの病院なら…ということを知りましたが、もっと早く、知る事が出来れば妊婦だけでなくいるんな方が心面だけでもすくわれると思います。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：1月23日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

私自身臨月の時に地震を経験して感じたことですが非常事態でも無事に出産できる場所があるのかどうかとても不安でした。ですから出産できる場所と助産婦さんやお医者様の確保と水やおむつやミルクなどの援助をお願いしたいです。私は〇〇病院でお産できて本当に幸せでし、何よりも精神的な安心感を与えていただいていたあんな大災害にあったあとでも無事に出産できたのは病院の皆様のおかげだと思っています。ありがとうございます。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：1月23日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

救急の助産婦を派遣できる体制を整えておく。今回の震災に見られるような交通アクセスのマヒにより病院に到着するまでの妊産婦の不安や苦痛を少しでも緩和できると思う。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：1月23日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

赤ちゃんの産湯、ミルクのための水は、絶対に確保しておいて欲しいと思います。また、妊産婦のために、自家発電装置なども、必要かと思う。(停電は怖い!!)絶対に分娩可能などがあるということを、常に情報として知らせて欲しい。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：1月23日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

- ・交通渋滞がひどいので 病院までの交通機関の確保を希望します。(産気づいた時の救急車出勤など)
- ・出産・入院が可能な病院の情報がもう少し早く知らされることを希望します。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：1月23日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市  
安全な場所への迅速な移動。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：1月24日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

私も妊娠10カ月のときにあの地震あったのですが、やはり何事も一番に優先して欲しい。例えば医療というよりもまったなしで生まれてくる赤ちゃんのためにお水、ミルク、おむつなどすぐ用意できるようにしてもらいたい。それと、どんなときであつてもちゃんと診療してほしい私の場合、本当は1週間に1度の診察が地震のため出来なかったの。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：1月24日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

そのような災害においても、水道、ガス、電気などライフラインが必ず確保できる病院が地域にひとつでもあれば安心なのですが… 地震の1週間後の出産で、寒いし心細かったです。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：1月25日 妊娠週数：37週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

どんな非常事態でも妊産婦の必要に応じるように対処してほしい。特に水は常に備え電気ポットも置いておくと便利。今回はこういう状況のため医院を変えたが紹介状なしで受け入れてもらったことはよかった。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：1月25日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 宝塚市

仕方がないとはおもいますが地震後2週間もたっているにもかかわらず（町のスーパーは通常どおりの営業に戻っている）病院の食事はパンと牛乳だけという非常食しかでてこなかった。みんなそれだけでは足りないの近くのスーパーでいろんなものを買って持ってきてもらっていた。ふつう病院が先に食物の確保するのがあたりまえだと思う。それから私は陣痛がおこってからの飛び込みの入院だったのですが最初は受け付けで満室だとことわらてた。こういう事態なのだから断わるのはおかしいと思う。（病院は救急用で部屋はあいているのに）

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：1月25日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

非常事態がおこった場合は、妊産婦は、避難所ではなく、近くの病院へ避難させて欲しい。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：1月25日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所： 宝塚市  
せいけつな場所。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：1月26日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

- ・水、湯の確保。
- ・精神的な不安を取り除く配慮、リラックスできる環境。
- ・快適な休養場所。  
とにかく落ちつけるふいんきを望みます

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：1月26日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

今回のことで、お産を予定していた医院から、お産が出来ないと連絡を受けた時、「他の病院への紹介状を渡すので取りに来て下さい」と言われました。地震のため、交通の便が悪くなっていたので、とても困難なことに思われました。今回は、幸い、母が自転車で2時間かけて取りに行ってくれましたが、もし、誰もいなかったらと思うと…。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：1月26日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

- ・水、ミルク、おしめなど心配だった。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：1月27日 妊娠週数：33週 自然分娩  
出産病医院の住所： 伊丹市

医療：診察時間の延長や休日診療など看護婦さんや先生方にはもうしわけないのですがお腹の赤ちゃんのことが一番気になったのでしてほしいです。

援助：予定していた分娩よりも早く出産してしまいました地震にて例えば日用品 食料品などでお金もたくさん使うことになり早産など援助金があったらいいと思います。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：1月27日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

- ・救急連絡先を明確にし診療、分娩、入院がいつでもスムーズに出来る病院（場所）を即座に配置またそこまでの交通機関も対応できる状態にして妊産婦への変りない「安心」を約束して欲しい。

そして生まれた赤ん坊に対する医療体制ももちろん「衣食住」について最低でも半年ぐらいの心配はしなくてよいようにしてほしい。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：1月28日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

電話がなかなか通じず病院がどういう状態であるのかがわかりませんでした。地震の日が検診日でしたが行けず道もどこをとおっていけばいいのか電車もおっていなかったのもみどれくらいの時間がかかるかわかりませんでしたのでテレビで病院が受け付けてくれているとわかって安心していけました。私は何よりも情報がほしかったです。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：1月28日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

まず、赤ちゃんが元気かどうか不安でした。それと病院が変わることも不安でした。なるべくならその病院で出産したかった。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：1月28日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

今までかかっていた病院だけでなく、どこでも診療できる体制。今回の震災で出産後、一度も入浴、シャワーができなかったのも、一度ぐらいいはシャワーがあびたかったです。出産後は特に清潔にしておかなければいけないので、少し気になりました。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：1月28日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

転院先の病院は、自分でTVを見て探さなければならなかった。先生の方から転院して下さいと言われたのに、転院証明書を頂くのに証明料代をとられた。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：1月28日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 氷上郡

通院していた病院が診察できなくなった場合に、どこか病院を紹介してほしい。

(又は紹介状を書いてほしい)

この度は、水もなく緊急のお産しか対応できないということで 自分で病院を探していったが 紹介状がもらえれば 今までの経過等わかりやすかったのではないと思う。あの混乱時では仕方なかったと思うので今後に期待したい。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：1月29日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

産後赤ちゃんに母乳をあたえたかったのですが環境がかわり全然でなくなりミルクだったので水が心配でミネラルウォーターをかなり必要しました。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：1月29日 妊娠週数：33週 自然分娩  
出産病医院の住所： 伊丹市

- ・援助は妊産用の下着（おりものですぐによごれたりする）ナプキンだと何度もトイレに行くのがつらい。
- ・なんとといっても食事  
地震の始日、2日……と食べ物がなくて困った。

私は地震の日子供（1才5ヵ月）に食べ物がなくて困った。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：1月29日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

直後の木曜日にいつもの定期検診を電話で問い合わせたところ「異常なければ控えて」とのことで1回検診を休みましたがその間大きな地震の後だけに心配でした。本当はすぐにでも診てもらい安心できたらと思います。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：1月30日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

10ヵ月になる体で体育館はきつかった。妊婦といってもみんなと同じあつかいだった。どこの病院が受け入れてくれるのか探す手段がわからなかった。すぐにテレビやラジオで情報を流すべきだと思う。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 1月30日 妊娠週数: 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

地震のために急に断水したりガスがとまったりしてもすぐに対応できるように設備を整えて欲しいと思います。特に水は絶対必要なのでミネラルウォーターなど用意していたらいいと思います。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 1月30日 妊娠週数: 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

避難所などにも巡回していただければ少しでも不安な気持ちがとりのぞかれると思います。検診はできなくても、問診だけでも、専門医にきいていただきたい。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 1月30日 妊娠週数: 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

地震後、自分自身が通院していた病院に電話が通じなくてすごく不安でした。3日後通じた時、電気、ガス、水道全部いけることをきき、すごく安心しました。災害が起きた時、精神的にすごく不安になったので、どんな時でもすぐ対応できる医療体制を望みます。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 1月31日 妊娠週数: 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

通院病院が被害などを受け診療できなくなった場合電話でも何でもいいのでおちつきしだい連絡をとり他の病院など知らせるべきだと思います。私はすごくいやな気分になりました。電話で問い合わせたところいつも通りですということで病院にいったところ具合の悪い方のみ検診すると言われました。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 1月31日 妊娠週数: 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 川西市

妊産婦は身体的、精神的に弱い立場にいると思うので非常事態のさいにはおとしよりとともにまわりの人達が励ましいたわってあげなければいけない。今回の災害では大規模なライフラインのストップに病院側はいろんなケースを設定して停電しても発電装置をつけて備える等の施設内の改正をお願いしたい。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 1月31日 妊娠週数: 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

体調よりも精神的に不安が大きく(予定日を過ぎていたので)病院が遠いため電話等の連絡手段もなくとても心細かった。市の広報もなかったのもっと病院側からの情報があればいいと思った。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 1月31日 妊娠週数: 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 姫路市

- ・水や食糧等が断たれた時の各医院等への緊急輸送体制の確立。(水くみや食糧の確保に追われて職員が倒れ、出産予定日の2日前に転院を余儀なくされたのは言葉で言えない程ショックだった)
- ・夫は震災後復旧の仕事に忙しく、臨月の妊婦一人で水くみの長蛇の列に並ぶのは大変重労働で困難であるので水と、できれば食糧の配達と介護で使う様なフロの巡回。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 1月31日 妊娠週数: 38 週 帝王切開  
出産病医院の住所: 西宮市

今回の大地震のように、広範囲に被害が及ぶ場合、地域ごとの援助では、不十分であり、隣接する市、又は府県間というように横のつながりが重要。又、避難できる知人や親せきがない場合、妊産婦の避難所生活や、水・ガスのない生活は、たいへん難しい。そんな場合に、ボランティアで、妊産婦が身を寄せられる家があればよいと思う。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 1月31日 妊娠週数: 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

今回、地震後 先生から電話を頂き安心しました。やはり、連絡(医師と妊産婦)を密にとり、いらぬ心配をとり除けるように、する事と、以後の指導を適確にして安心して出産できる環境を作ってほしいです。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：2月1日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

私が通院していた病院は〇〇病院でした。地震当日予定日1週間前だったので診察してもらおうと思っていたのですが入口で総合案内の人に産婦人科の診察は休診で今後いつ再開するかわからないと不安なことを言われました。仕方なく予定日迄すごし再度病院まで行くと出産できる状態でないと言われ紹介状を書いていただきました。

(当時死者、けが人が多数で妊婦があとまわしにされ病院に対する信頼感がうすれました)幸い無事に別の病院で出産できたのですが病気でないにもかかわらず妊娠中何がおこるかわかりません。もっと対応策をかんがえ患者に連絡して欲しかった。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：2月2日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

ちょうど今回地震があった日が検診の日だったので病院に行ってみたのですがカルテが散乱したり電気が思うようにつかないなかそれでも検診して下さって異常ナシと言われたときにはすごく安心したことを覚えています。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：2月2日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

私は、震災後2週間たってからの出産でしたので、だいぶ落ち着いてましたが、翌日出産の友人によりますと、水、電気が無く、不安がつのったとのこと、また食事にも困ったということですので、常備食を置く、自家発電ができる等して欲しいと思います。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：2月3日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 宝塚市

妊婦、新生児の受け付けを今回の地震の時もテレビやラジオで放送していただいととても安心しました。今後もこの度のように受け付けて下さる病院全てを何度も放送していただきたいと思います。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：2月3日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

H・Pの被害状況をくわしく教えてほしい。→(H・PへTELした時、事務が水・ガス等の事をわかっていなかった)

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：2月3日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

どんなに小さな病院でも、優先して、ライフラインを確保して欲しい。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：2月5日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

かかりつけの病院に行くまでに、徒歩で行くわけにも行かず、車で行くしかなかったのですが、それもひどい渋滞で、急に産気づいたら…と思うと精神的に不安になりました。急な時の移送についてみんなでもう少し考えていきたいと思います。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：2月7日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

当時、とても電話がかかりにくくなっていて自宅は尼崎、病院は須磨区で病院が無事なのか入院できる状態なのかわからず不安な日々を送りました。自宅の近くの病院に1度検診してもらいにも行きました。もうそこで出産するしかないなあなんて思ってとてもゆううつな日々を送ったことを思い出します。もっとスムーズに連絡をとれるようにしてほしい。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：2月7日 妊娠週数：38週 帝王切開  
出産病医院の住所： 尼崎市

非常事態の時、ちょうど臨月で少し歩いても疲れる状態だったので、避難するのも迷った。もしも破水など急な時、病院がどこでみもらえるのかわからないので不安だった。以上のようなことを相談できる機関があればいいと思う。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日： 2月7日 妊娠週数： 42週 帝王切開  
出産病医院の住所： 宝塚市

ちょうどガスが通っていなかった時の入院だったので 産後のシャワーが全くできず（12時間病院で）気持ちがわるかったのでプロパンなどができないものかと思いました。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 2月9日 妊娠週数： 37週 帝王切開  
出産病医院の住所： 西宮市

地震後、病院も変わらず、通院していましたが、ガスと水道が復旧していなかった為にトイレ等がとても不潔でした。（約1カ月）それと、帝王切開を予定していたので手術が出来るかどうか2、3日前までわかりませんでした。病院は災害等があっても建物が心配なければ、ガス・水・電気は心配のない様に自家発電等しておいて欲しいものです。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 2月10日 妊娠週数： 37週 帝王切開  
出産病医院の住所： 尼崎市

今回の地震の時、34週の2日目で、前回帝王切開だったため今回も帝王切開を予定していましたので、もし急に破水などしたらどうしたらよいかとても不安でした。今後このような大災害はないとは思いますが予定の産婦人科病院が診療ができない時、どこへ行けばよいのか提携の病院を教えてくださいたいと思います。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 2月10日 妊娠週数： 41週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

通院している病院で今後も診療を受けられるのかとても気になった。特に出産間近だったので、そうゆう人達だけでも病院から情報もしくは連絡がほしい。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日： 2月10日 妊娠週数： 40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 豊岡市

病院が被害を受けた場合、9カ月、10カ月に入っている妊婦に対しては早めに被害の状況を説明し、これからの事を相談させてほしい。今回の地震では病院に“出産できます”という確認をした数時間後にできたら変わって下さいという病院から電話が入り交通困難の時にあわてて病院をかわりすぎて不安な時期がありました。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日： 2月10日 妊娠週数： 39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

非常事態では妊産婦に限らず老人や子供も優先されるべきところだが、やはり物資面（食糧、下着等）や衛生面での対処が望まれると思う。できれば法律で定められたものができると思う。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 2月11日 妊娠週数： 37週 自然分娩  
出産病医院の住所： 川西市

私は地震の後すぐ姉の家へいけたのであまり不便なことは感じませんでしたがやはり精神的なものは誰かにきいてもらえると少しは安心できるのではないのでしょうか。（もちろん食べ物もバランスがあるものだと思いますが）なるべく早く検診がうけられたら安心ですね。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 2月11日 妊娠週数： 41週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

- ・特に安全で安静がのぞめる避難場所の確保。（看護婦か助産婦が常駐）緊急時にはすぐ専門医の診察が受けられる体制づくり。（搬送システムまたは往診ができる）
- ・出産、検診をはじめとする産婦人科の受け入れ体制などの細かな情報提供。
- ・医療機関までの交通手段の確保。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 2月13日 妊娠週数： 38週 帝王切開  
出産病医院の住所： 神戸市西区

医療費は、無料にして欲しい。



被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 2月14日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

ゆっくりと休める場所を確保してほしい  
(横になることができるような) 今回の地震は寒い時だったので学校へ避難したときは大変冷えたのでふゆは暖房の用意もあったらと思う。はじめはおにぎり1個という配給だったが牛乳などもあればと思う。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日： 2月14日 妊娠週数： 39 週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市

今回37週の時点で病院を変わったのですがいやな顔一つ見せずに皆さん快くむかえてくれて不安を抱えた私にとってはとてもうれしく心強かった。ただ転院の際まえの病院からの診断書があった方がいいとのことと道路事情の悪い中診断書を取りにいったのは大変でした。このような非常事態においては肉体的なはもちろんだが精神的にもかなり不安定になっているのでやさしい言葉や態度がなによりだと思う。できれば病院同市で前の病院でのカルテや妊婦の経過などが連絡しあってくれていればもっといいと思う。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 2月14日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 芦屋市

病院との連絡を密にとりたい。(〇〇病院ではさいわいにも毎日電話で体調をかくにんでき不安が少なく過ごせた)もしものとき(かかりつけの医院がだめなとき)近くの病院を2-3紹介しておいてくれればもっと安心できる。(病院同士連絡があれば安心できる)

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日： 2月14日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 伊丹市

ライフラインが、止まると、いつ生まれるかわからないので、計画を立てることが、できません。〇〇病院から、3つの病院を紹介されましたが、地震の場合は、長期に渡り、交通事情に影響を及ぼすので、もっと多くの受け入れ先が、ほしいと思いました。地域の方々の援助が必要で、日常からの交流が、大切ですね。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日： 2月15日 妊娠週数： 41 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 西宮市

病院同士の横のつながりが密であること。当日10カ月に入ったところで検診が受けられず遠くへ避難するにもとりあえず今の状態がそうかわからず不安だった。ちかくの〇〇病院へ検診を願い出たら“今陣痛がきていないのならダメ”と断られた。妊婦にとっては同じ心理状態なのに対応が遅くいやな思いをした。通っていた医院な入り口に“連絡先”“受け入れ先”と表示してほしい。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日： 2月15日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

主治医のせんせいや助産婦の方の自宅訪問での診療。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 2月15日 妊娠週数： 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

病院が断水、ガス供給停止になり、出産に不安を抱いた。病院での独自の取水、ガス、電気等のシステムの確立を希望します。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 2月15日 妊娠週数： 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

出産前に医院から連絡があり助かりました。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 2月15日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 川西市

非常事態であっても、精神的に不安定な妊婦が安心して出産できるような受入体制の常に整った医療機関があること。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日： 2月16日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

今、もしまた地震がおこったら……と考えたら一番心配なのは粉ミルクとお湯がちゃんと確保できるかということです。災害がおこって何もなくなってしまうときに乳児のいる家庭にはちゃんと配給できるようにしておいてほしいです。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：2月16日 妊娠週数：38週 吸引分娩  
出産病医院の住所：西宮市

地震後、大変歩く事が多く、寒さも手  
伝って、大変おなかが張りましたが、病院  
は生死にかかわる人や遺体が多く、とても  
診察して頂く気分になれませんでした。ま  
だ、ミルクをのんでいる赤ちゃんをお持ち  
のお母さんがとても気の毒で、赤ちゃんは  
1時間もまてませんから、その援助をまず  
一番に考えてあげて頂きたいと思います。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：2月18日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：伊丹市

地震でたんすのしたじきになり赤ちゃん  
のことが心配だったが病院が外来診療をし  
ているかどうかかわらず電話での問い合わ  
せもできず不安だったのでそういう情報を  
流して欲しいと思う。地震後避難所でも自  
宅でも十分なバランスのとれた食事をとる  
ことができなくなるのでむくみがでてきて  
しまった。食事の面で何か援助していただ  
けたらと思う。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：2月18日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

今回の地震のショックで母乳が出なく  
なった方も多いと思います。そういったお  
母さんの為に、マッサージなどをする助産  
婦さんを派遣するというのは如何でしょう  
か？育児に関する不安等も多いので話を聞  
いてくれる人が来てくださるといのはと  
ても助かると思います。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：2月19日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

一番つらかったのは お風呂に入れな  
かった事で 足が冷えて、どうしようもな  
かった。具体的な援助方法はわからないけ  
れど。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：2月20日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

医療費の軽減

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：2月21日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

神戸市では、今回の地震の被災者であ  
り、かつ 妊婦である者に対して、無条件  
で、3年間すえおき無担保のお産のための  
費用の借しつけを行なっていると、知人か  
ら聞きました。そこで、〇〇市でも、もし  
あるならと、かり入れを申し入れようと思  
い、市役所の方へ問い合わせたら、「保健  
所の 福祉関係か、生活保護のようなところ  
で聞けば、あると思う」と強く えらそ  
うにいわれたことにととても腹が立ちまし  
た。特にここで述べることはないかもしれ  
ませんが、同じ被災地であったのに、市  
によって そちが違うということに矛盾を  
感じました。せひ、このような制度をとり  
入れていただけたらと願います。そして、  
このような疑問が生じた時の 110番のよ  
うなものをつくっておいていただけたら安  
心ではないか…と思います。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：2月22日 妊娠週数：38週 帝王切開  
出産病医院の住所：西宮市

私は地震時まだ出産していませんでした  
がもうまれていけばほとんど母乳がでな  
かったので水が確保できなかつたりまた新  
生児ならば衛生面（消毒等）が不十分に  
なったと思います。出産もし退院してい  
ても赤ちゃんへの必要なことを援助して  
いただけたら助かります。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：2月22日 妊娠週数：38週 吸引分娩  
出産病医院の住所：西宮市

無理な事かもしれませんが、水が出ない  
と、清潔なのか、不安なので、常にどこか  
にたくさんの水をためておいて、病院は、  
どの様な時も水がでる様になれば安心でき  
ると思います。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：2月23日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：尼崎市

交通の便が悪くなるので妊産婦用の車が  
あったらいい。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 2月26日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

自分だけの体であればよいが、お腹に子供がいると自分1人以上の不安を感じるものなので、肉体的な面よりも、より精神的な面のケアを重視してほしい。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 2月26日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

落ちつける場所(安心して、眠れる)

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 2月27日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

私の場合地震の時8ヵ月だったので時に問題はありませんでした。妊婦検診、出産できる産院の情報が入ってくるのが遅かったのでその間不安でした。また、災害後の電気、ガス、水道の復旧をせめて病院だけはできるだけ早くすすめてほしいと思いました。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月1日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

特別なときこのような災害のときにはどうしても一歩援助が遅れがちなのでマニュアルをしっかり考えてほしいし一般の人と同じ妊婦のどこにでもいるので細かい心配りを望む。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月1日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 川西市

救急車をつかえるようにと思う。希望の医院までつれてほしい。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月1日 妊娠週数: 37週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

手術が必要な帝王切開など水がなかったためするところができなかったみたいで、他の遠い病院に移送されていたので、お産はいつ始まるかわからないことなので妊婦のための病院の確保の状況等いろんな情報を広報にのせて周知したほうが良いと思いました。そうしたら、いざというとき役にたつと思います。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月1日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

予定日を1ヵ月先に控えてとても不安な気持ちで一杯でした。急に産気づいた場合に行けばよい病院などもう少しテレビや手紙などで知らせていただければと思いました。衛生面などではどうだったのでしょうか? 気になったことの1つです。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月1日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 芦屋市

私は主人の実家でお世話になりましたがやはり色々なことで気を使いストレスでイライラ、不眠症などごかかるタイプだと思いますが不安な日々をしばらくの間は過ごしました。この地震では水がでない、ガスが出ないで毎日の水くみ、お風呂は大変でした。とくにお風呂は週に1~2回このお風呂やさんもいっぱいできむい外で1時間ずっとたまってまったこともありました。なかに入ってもいっぱい何度かぶつかられたりしてこわいおもいをしました。出来れば妊婦だけの特別な緊急施設があればそんな情報などが各産婦人科でおしえていただけるようなればいいと思います。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月2日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

たださえ精神的にも不安定なときなので、肉体面と精神面の両方のケアが直ちに出来る様なネットワークがあれば、と思います。

被災時住所：西宮市 経産婦  
出産日：3月2日 妊娠週数：38週 帝王切開  
出産病医院の住所：西宮市

1月25日、震災後、初めて9月の検診に行きました。〇〇病院で大丈夫かと不安でしたが、今さら病院も変えたくなく、行きましたが、検尿の際、手を洗う水もなく衛生的な面で、ショックを受けました。帝王切開のため2月28日に入院した時は、産婦人科病棟にはほとんど妊婦の姿はみえず、被災された外科や内科の方が入院されていました。そこでも本当に大丈夫かなと不安な思いをしましたが「3月にはどうか大丈夫でしょう」との先生の言葉を信じて、はじめから受診していた病院で出産しました。3月にはいると妊婦さんも増えはじめ、やっと落ちついた様に記憶しております。いろいろ不自由な中、看護婦さん方もよくして下さいました。

被災時住所：西宮市 経産婦  
出産日：3月3日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

精神的不安が少しでも良くなるように、何かあればどこへ連絡すれば治療が受けられるのか、など、相談、指導していただけたところを事前に何度となくしらせてほしい。（例、こんな時はこちらへ連絡を。）

被災時住所：西宮市 初産婦  
出産日：3月4日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市東灘区

とにかくおなかのこどもが心配だったので連絡が先生ととりたかったです。電話がなかなかつながらなくて困りました。他の手段でもなにか連絡のとれる方法があればと思います。

被災時住所：西宮市 初産婦  
出産日：3月4日 妊娠週数：41週 吸引分娩  
出産病医院の住所：西宮市

私の場合出産まで1ヵ月程の時だったのでとにかく予定日までってほしいという思いで一杯でした。直後は検診をしておうにも診察はされておらず神戸市北区の病院に行ったが予約がないため半月先検診していただけないとのことでした。その日が来る前に〇〇先生で診察していただきましたが水が使えないためかぜもひいたりもしとにかく産婦人科の医師の診察を受けて安心したいという気持ちでした。

被災時住所：西宮市 初産婦  
出産日：3月4日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

- ・精神的ケア。
- ・他病院への良心的な紹介。

被災時住所：西宮市 初産婦  
出産日：3月4日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

通院していた病院の母科学級などが中止になってしまって、もし、陣痛がきたらどうしよう…と不安になりました。病院の中も大パニックでそれどころでなかったことは確かですが、助産婦さんや同じ妊婦同士話をできるようにしてもらえたらと思いました。水もお湯もいらないミルクを日本でも発売してほしいです。

被災時住所：西宮市 初産婦  
出産日：3月5日 妊娠週数：42週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

24時間信頼している先生と連絡がとれると安心できいいと思います。（看護婦さんはちょっと不安）

被災時住所：西宮市 経産婦  
出産日：3月6日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：尼崎市

- ・避難所で妊産婦が安心してからだを横にできるスペースと冷え防止の為に毛布、カイロなどの確保。

被災時住所：西宮市 初産婦  
出産日：3月6日 妊娠週数：37週 自然分娩  
出産病医院の住所：尼崎市

私の場合、8カ月のときに病院をかわったのでとても不安でした。ですからできるだけかわらなくてよいようにしてほしい。できない場合は先生だけでも変らないでほしい。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 3月7日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

妊婦はいつ何がおこるか分からないので(体調が)そのとき(災害時)診察をうけられる病院がどこなのか情報を流してほしい。(病院が被害にあつてつぶれていたりすると困るので)ここの病院は診察できます。開いていますという情報がすぐ知りたい。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月7日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

- ・保健婦の方等の訪問又は電話。
- ・ライフライン(特に水をくみに行くことが困難だったので)が整うまで援助してくれる人がそばにいる方がよいと思う。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月7日 妊娠週数: 39週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

帝王切開など いざという時に処置ができる様、水などの確保。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月7日 妊娠週数: 39週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

特に異常がないとしても、精神的なショックは大きく、不安なので、定期健診の日時でなくても診てもらえれば安心。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月8日 妊娠週数: 41週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

〇〇病院は、市の病院なので、もっともっと早い時点で、水が出るようにしてほしいと思った。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 3月8日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

今回出産した病院では2月18日予定の人は転院をお願いしてありました。(はっきり覚えていないのですが)私は3日予定でしたのでこちらの病院でお願いする事にしましたが、もし早産にでもなったらどうすればいいの不安でした。非常事態の時、今までかかっていた病院が受け入れてくれない時、どうすればいいの具体的な指示があればいいと思います。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 3月9日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

- ・まず 横になることのできる場所を確保して欲しい。
- ・精神的に不安定になるので精神面での援助をしてほしい。
- ・一両日中に学校や公民館で診察がうけられるようにしてほしい。
- ・すぐにテレビ、ラジオ(新聞)などで診察入院可能な病院を紹介して欲しい。
- ・行政に対して一人暮らしの老人などももちろんですが妊産婦 乳幼児のいる家庭を把握できればボランティアのひとの訪問をして欲しい。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 3月9日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 川西市

今回の地震では子どもはまだ産まれていなかったのですが、もし産まれていてミルクの心配をした時近くの産婦人科へ行けばミルクを飲ませてもらえることが出来ればいいのと思いました。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月9日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

体調不良の原因は、食生活だった。今までは気をつけていたが、当時は、食べられるときにたべられるもので、せいっぱいだったので、私は、経験しなかったけど、避難所の弁当のみの方は、もっとたいへんだと思う。何か方法はありますか。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 3月9日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

- ・定期検診を必ず行う(順調に育ってるか心配)私の場合、住んでる所より、産院の方が被害が大きかったため、自分は動けても、産院は、臨月の人その他、異常を自覚する人しか診てもらえなかった。反対に自分が動けない状態になってると不安。
- ・ガス、電気、水道の確保(ガスはプロパン)自宅は、すぐ電気も水道もついたけど産院は、産む半月前までどれもダメいろいろ苦勞されて、それなりに、お産の方をうけ入れてたけどやっぱり不安!!

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月10日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

- ・どの病院が無事できちんと治療をうけるのかテレビや電話等で詳しく報道して欲しい。
- ・家を失った人も早々と退院しなくてもいいように少し入院期間を長くするとか入院費、治療費の公的援助等。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 3月10日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 三木市

いちばんこまったのは 水を運べないこと。お風呂にもはいれず、清潔にできなかったのがつらかった。上の子(2才)もいたので、出歩けず、食料品などもこまったので、妊産婦にかぎらず、小さい子のいる家庭をはあくして、物品などの援助をできるだけ、早くしてほしい。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月11日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

私などのほとんど被害のない体の異常もない方ばかりではないと思います。被害にあい体のほうも不調(むくみがひどいとか)などの方々は不安でしかたないと思います。そんな方々には定期検診以外に別の窓口を設けてもいいと思います。(精神面など 普通の人、妊産婦別になど)それとこの度感じたのはつわりのひどい方には食事等の差し入れとかムリでしょうか(弁当が支給されても食べられないと思うんですが)妊娠5ヵ月以降の方は目立つので回りの人もきずかって下さるけど腹回りの少ない方とか5ヵ月未満に方々は水くみとかつらかったことと思います。その辺り何とかならないものでしょうか。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月12日 妊娠週数: 40週 鉗子分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

赤ちゃんがお風呂にはいれるように一般とは別の風呂場をつくってほしい。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月12日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

医療では地震から1週間~10日間は大きい病院でも一般受け付けを再開してなかったしすごいこんでいたので結局地震から1週間以上たってからみてもらい安静とのこと。外傷さえもないが精神的ショックが多く、子供へのショックも多かったと思います。せめてもう少し早く対応してもらえたらと思います。避難所では1日目はおにぎり半分、2日目パン、牛乳のみ。3日目ジュース、おにぎり、パンなどで食事が妊産婦にとってやはり大事だと思います。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月12日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

親類の家に一時避難したので、地震前の病院、避難先での病院、出産した病院と、3つの医院にかからなければなりません。どこの病院でも、最初から何もかも検査しなければならなかったため血液検査など、とても費用がかかりました。検査書を見せても、どうして最初から受けなければならぬのか不思議です。あと、結局、地震前にかかっていた病院で、〇〇病院を紹介していただいたのですが、こちらからお願いをしなければ放たらかしという感じで、出産直前まで不安な気持ちでした。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月13日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

妊娠中は少しのことでイライラしたりお腹がはったり心配するものです。まして今回の地震でガス、水が止まったのは妊娠中の女性はみなさんかなり困ったと思います。お風呂に毎日はいれないのが1つのなやみでした大きいおなかをみんなと一緒にするのは少しはずかしい。妊娠の女性だけのお風呂があればいいと思います。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月13日 妊娠週数: 39週 帝王切開  
出産病医院の住所: 西宮市

一瞬にして 家やすべてのものを失った時、何か、証明証みたいなものもなくても、妊娠していることがわかれば 検診料の半分を免除してくれたりしてほしい。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 3月14日 妊娠週数: 39週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

今回の地震後かなり神経質になり「おなかの子はだいじょうぶか」とか「お兄ちゃんは大だいじょうぶか」など精神的にかなりダメージがあったように思います。よる、ねむれなかったり、少しのことでとびおきたりと言うように、ですので、精神的なケアをこまかくしていただければと思います。8カ月以上、地震後たっておりますが、まだ時々とびおきるようなことがありますので。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月14日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

救急のためだけの診察ではなく 妊婦の検診は行ってほしいと思います。初めて妊娠した人は少しのことでもすごく不安になります。検診での安心感がとても大切な事だと思います。今回 余震が続いていましたが医師の「お腹の赤ちゃんは元気ですよ。」という言葉で明日への希望もわいてきましたから。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月14日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

地震後2度程かかった医師（大阪府にて）は、「神戸の地震はあって良かったんだ」とつらい想いの被災者の私達に診察の際申され、医師の信頼をなくしました。特に妊婦が精神的にも一番つらい想いで不安をつのらせやっとの思いで通院する病院をみつけて来たというのに精神的に支えるはずの産婦人科医師の言葉にショックでした。もっと 心の支えとなる医師が必要。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月15日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

はら帯、下着等を用意してもらいたい。それとすぐに診察して頂きたい。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月15日 妊娠週数: 38週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

各産婦人科病・医院での備品の備蓄や、市区町村での妊産婦への個別訪問etcでストレスや不安を少なくするようにして欲しい。  
※備品…新生児用オムツetc.道路寸断のため届かずに苦勞なさっていた。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 3月15日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

安心して出産出来る場所の確保。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月16日 妊娠週数: 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

長い間(1ヵ月以上)水とガスがでなかったので食生活にこまり栄養状態にすぐくひびきました。後 衛生面でもすぐく気になりました。だからとくに妊産婦専用に医療関係の所に食事やお風呂が入れるようなところがあればと思います。また生まれたて(生後3ヵ月以内)の赤ちゃんにたいしても育児ができるしせつがあればよいとおもいます。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月16日 妊娠週数: 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

避難所での生活は負担を感じるという妊婦によって免疫がなくなっている状態であるような場所にいる事自体お腹の子供に与える影響も問題ではないでしょうか。被害のなかった病院等場所を確保しつつすべき水がなく井戸水を飲んだ方も多はず、妊娠している人には優先的にならぶことなく水くみができればよかったです。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 3月16日 妊娠週数: 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

精神的な面の援助。(いろいろ話しをして下さり、聞いてもらおう)

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月17日 妊娠週数: 38 週 帝王切開  
出産病医院の住所: 西宮市

今回の地震の時寒くとてもからだ冷えてしまいました。私は実家に帰ったので少しの間だけの冷えでしたが避難所などにいた人達は大変だったと思います。小さい子供やおとしより等だけでも何とかならないものかと思いました。入院したときの食事などたいへんだと思いますが妊婦としては少し不安でした。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月17日 妊娠週数: 38 週 帝王切開  
出産病医院の住所: 西宮市

- ・急に陣痛がきた時、どこの病院が機能しているのかの情報。
- ・震災時、水や食糧を手に入れにいたりお風呂をみつけにいたり移動や作業がたくさんありましたが、9ヵ月目に入ってお腹がはりやすくつらいものがありました。両親の同居に助けられました。日中一人で留守番をしている妊婦さんは大変だったと思います。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 3月17日 妊娠週数: 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 加古川市

安心して出産できるように、水や電気は、病院内では、いつでも、大丈夫な状態にしてほしい。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 3月17日 妊娠週数: 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

安心して、出産出来る病院を一日も早く知るようにしてほしい。〇〇市内の病院では、どこも帝王切開などの緊急を要するときは、受け入れられないと聞き、大変不安でした。△△市内の病院とも連絡がつくまでとても心配でした。(全然電話はつながらなかったし、病院までたしかめにいけない状態でした)

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 3月18日 妊娠週数: 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

インスタント食品ばかり食べなければならぬ状態だったので、ビタミン剤などの栄養補助食品を援助してもらいたい。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 3月18日 妊娠週数: 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

交通の不便な時、返って検診を受けに行く方が体に負担がかかり、むくんだり、中毒症がひどくなったりする。電話で相談し、受診が必要な時は、往診してくれる病院や薬をもらえる体制がほしかった。



被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 3月19日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

今回は季節が冬でしたので、体が冷えてお腹も張りっぱなしの様な状態でしたので、毎日の入浴が本当に困りました。入浴するとお腹の張りが、本当に楽になるので、毎晩、尼崎の銭浴に通いました。水も出ないので清潔にする事にも気を付けましたが、銭浴などの情報や、妊産婦には、時間帯を決めて入浴させて頂くなどの特典の様なものがあれば安心できると思いました。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 3月20日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市灘区

とにかくどの病院がいているのかラジオ、テレビで教えて欲しい。(TEL,場所を含めて)

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 3月20日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神崎郡

妊産婦専用の避難所を設けて欲しい。そこへ行けば必ず粉ミルクや哺乳ビン、ミルク用の水、離乳食紙オムツなどBaby用品がそろっている妊婦は婦人科医に診てもらえるというところがあえば安心だと思います。今回私はにんしん8カ月で10kg以上体重が減り10歩も歩けば行きが切れるという状態で1月には入院を予定していました。その矢先の地震おまけに娘のインフルエンザをもらい地震の翌日には40℃以上の熱が続きフラフラの状態、お腹はキンキンに張り1歩もあるけなくなりました。産婦人科にも連絡がつかず、もうだめかと思いました。そこへ義弟の姉夫婦避難してきたのですが、運のいいことにご主人は産婦人科のお医者さんということで家に寝たまま点滴してもらいました。薬もいろいろもらって少し落ち着き実家まで車で避難することができました。私は運がよかったと思います。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 3月20日 妊娠週数: 36週 帝王切開  
出産病医院の住所: 西宮市

今回は初めての非常時であった事もあり、しかたのない事もあるでしょうが、急な時でも43号線に規定時間があった為タクシーを呼んでもきてくれないし、一般車はとおれないし、大変だった。混雑するのは、わかるけれど、子供の一カ月検診もタクシーが、43号線より南の方は行けないといわれ、雨の中一人子供と傘をさして、荷物を持って電車での検診はつらかった。もう少し考えて欲しかった。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 3月22日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

私の場合、家も割合被害が少なく、困ったことといえば、水・ガスが出ないこと、食糧が手に入りにくく、家族の生活を進める上で不便だったことぐらいでしたが、それでも、ストレスや疲れから、出産の時は、“羊水がドロドロで、これ以上出産が遅れていると赤ちゃんもあぶなかった”と言われました。大災害などでは、精神的・肉体的な安定はむずかしいですが、検診に通っていた産婦人科が、もっと電話も通じやすく、自宅などよりもっともっと早く、ガス・水道が出れば、入院も家の近くの、その医院でできたはずですが、大きな病院から、復旧が進められるそうですが、医療機関には少なくとも2日～3日以内に、ライフラインの補充・復旧がなされるべきだと思います。とくに、電話がかからないのには困りました。大阪市内の病院で入院が必要とされたとき、できれば、家の近くのその医院に入院したかったので、何度も可能かどうか確かめようと電話したのですが通じません。医療機関は別の連絡網があればもっと、言いと思いました。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 3月23日 妊娠週数： 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

東大阪の主人の実家に帰ったときの事です。地震で妊娠8ヵ月の私は大人3人でやっと持ち上がったタンスの下敷きになってしまいました。〇〇病院で検査をしてもらったら胎盤に影がうつっているのを避難先の病院ですぐに見てもらってくださいと紹介状を書いてもらいました。しかし東大阪の病院は(3ヵ所)「責任が持てない」「ここで出産してもらえらるなら」という理由でことわられました。こういう非常時に診察してもらいたかったです。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日： 3月23日 妊娠週数： 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

各自治体に備蓄品として、紙オムツ、育児用ミルク、赤ちゃんの為の水(お湯)を置いておくと安心だ。妊婦自身も清潔さが重要だと思う為、それ用のお湯(風呂用)をストックできたらいいと思う。(私は、風呂に苦労した。)

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 3月24日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

用意してあった出産費用が全部ひっこし等ででていってしまい頭のなかがどうしようという気持ちでいっぱいだったので費用の支払はもう少しあとにしてほしかったという。金銭的なことと産後今だおちつかずにフワフワ、ソワソワしているので心のケアもしてほしかった。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 3月24日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

男の人が仕事へ出てしまった後、昼間は女・子供だけになってしまい、給水所と家を行ったり来たりし、食糧を探して、2~3件のお店をまわる毎日で無理をしなければ、生活して行けない状態で、今、流・早産しそうになれば、どうなってしまうか不安な毎日でした。生活がやっとで検診に行くどころではなかった。自分の家にいるとほとんど情報が入って来ないのが不安だった。妊産婦が異常をおこした時どうすればよいか、受け入れてもらえるのか分かったのは、少し落ちついてからだった様ですが、すぐに知らせてもらいたい情報でした。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 3月24日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 洲本市

今回の大震災でも郵便物はしっかり届けられていましたし、電話なども通じるころもあった様ですので、通院していた病院から何らかの手段で、連絡を頂ければと思いました。ちなみに私は通院していた病院には電話連絡不通でした。通院していた病院も診療は不可能でした。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 3月25日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

- ・妊婦をみる設備のある医院名をテレビラジオで流して欲しかった。
- ・家が壊れてしまった人とかは無料で診察しベットを確保してあげてほしかった。
- ・妊婦に対する精神的なケアのできる人の用意(医者は妊婦が集中して聞いているどころではなかった)

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 3月25日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

- ・精神的に不安定になりやすいため適切なケアが必要。そのために何だかの対応。(いろんな相談なり不安な部分を少しでも取り除いてくれば)
- ・病院を変らなければならない場合の医療の情報をわかりやすく紙面で報告して欲しいお産の費用などの援助、紙おむつ、ミルク、衣料品などの配布場所の徹底(いつ、どこで、何時頃に) いずれにしても徹底した情報を紙面でおしえていただきたい。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日： 3月25日 妊娠週数： 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

災害の時、受け入れてくれる病院が早くわかり受け入れてくれること。大変だと思いますができるだけ衛生面で気を付けてほしい。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 3月26日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

地震のため、水、ガスが止まったため、食事といっても、インスタントものをいっても食べなければならなかった。(店に行っても食糧が少ないこともあって。) 体も清けつにする事を考えると毎日オフロ屋にいかなければならなかった。洗たく物もコインランドリーなど何度も通わなければならなかった。水くみも重い物を持つ作業だったので皆にまかせっきりだった。食事、オフロ、洗たく。このあたりまえの要素が妊婦にとっては何よりも重要なことでもあるので、この点を考えてもらいたい。(援助の面で)

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 3月27日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

- ・胎児の健康状態をすぐに調べてほしい。(検診)
- ・精神のリラックスのためにも入浴設備。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 3月27日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

物資をもらいに行くにも、水をくみにいくにも、大きなおなかをかかえてはとても大変でした。まして、2人目となると上の子の面どうを見ながらで、重労働に感じました。主人がずっといてくれると安心もできますが、そもいきません。昼間手伝ってくれるボランティアがあったらうれしく思うのではないのでしょうか。又、緊急時で、それどころではないかもしれかもしれませんが、医療機関側から安否の連絡がいただけたら不安をもつ妊婦に少しは安心するのではないのでしょうか。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日： 3月27日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

どのような状況においても対応が可能だという事を説明して不安になる事を避けられるようにしてほしい。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 3月27日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

重いものを持ってない妊婦には、水をくみに行く事は大変困難でした。又、我が家のように高層住宅に住んでいると、エレベーターの動かない間は、下へ降りるのに大変な恐怖を覚えました。それらに対する何らかの援助があれば…、と思いました。病院もしばらくは、連絡とれなかったり、壊れていたりして、私は一体どこで出産するのかと、たえず不安がありました。これらの為、胎児が随分下へおりてきているので安静にしているよういわれましたが、不安はぬぐえませんでした。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 3月27日 妊娠週数： 40 週  
出産病医院の住所： 尼崎市

地震の前に通っていた病院からは、地震の被害で混乱している等で他の病院を紹介してもらうことができず、自分で他の病院を探すことになり、とても心細い思いをしました。非常事態の際には、前の病院から、受け入れ可能な病院を紹介してもらえ、システムを徹底してもらえたり、自宅から近い医療機関から往診に来ていただけるシステム（問診だけでもしていただけたら、精神的に落ち着くと思います。）を作ってもらえたら良いのに…と 思いました。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 3月27日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

できる限り、今までかかっていた病院で、診療及び出産ができること。最低限の栄養を保てる様に食料を十分にすること。体育館で避難していたのですが、妊婦ということで、辺りの方々に、すごく、親切にしてくださいましたことに感謝しています。避難所等においては、床の上も毛布を敷くのみで、寝ていましたので、安心して横になることができるスペースが欲しかった。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 3月27日 妊娠週数： 38 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 宝塚市

今回 私は幸いにも当時7カ月だったので赤ちゃんの心配をしなくてもよかったが、テレビなどで、新生児を持っていらっしゃる方が映る度に痛々しく感じた。紙オムツ・ミルク・清潔なお湯がすぐに支給されるように願いたい。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日： 3月28日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

切迫早産で1月14日から1月25日迄入院したのですが、地震後食事不十分で、水、湯が無い為、洗顔、入浴（体をぬれタオルでふいてもらう）など待遇が通常とまったく違うのに入院費は通常通りの支払いでした。また、自宅にて元の生活が出来ないということでなかなか退院の許可がおりず、入院が長期になった。こういう場合の入院費の一部払い戻しや免除があればと思います。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日： 3月28日 妊娠週数： 36 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

- ・ 定期検診に行けなかったため、神戸市のように、所定の場所をもうけて、妊婦の検診を行なってほしい。
- ・ 地震で断水になったため、乳幼児は、ミルク、水、オムツが不足で大変だったと思うので、すぐに配給して欲しい。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 3月28日 妊娠週数： 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

体調は、もちろんのこと、心のケアの方も希望します。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 3月29日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

- ・ 出産の際の水の確保。
- ・ 無料検診。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 3月29日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 三木市

今回の震災で見も知らぬ方が水くみを手伝い、運んで下さったり、色々な人にお気付け頂きました。少しばかりの気くばりがとても大切だとしみじみ感じました。妊娠の状態、日数によって多少差がありますが体が思うようにならない、動かないことにとっても心細さを覚えました。普段から病院が老人、小児、妊婦、障害者などの弱者をもっと優先する姿勢や気付けいをもっていただければよいのではないのでしょうか。（月並なことばかりでもうしわけありません。）

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 3月29日 妊娠週数： 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

精神的に不安定になってしまうと妊婦にとって良くないので心のケアをして欲しい。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月30日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

妊娠中の災害は自分自身の事よりもおなかの赤ちゃんのほうがとても気になります。体だけではなく心のケアにもすばやく対応してほしい。栄養面にもきをつけてもらえたら。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月30日 妊娠週数: 36週 帝王切開  
出産病医院の住所: 西宮市

地震後、どうしても外出しなければならなかった時、(妊娠7カ月でしたが)歩いている途中にお腹が張って歩行困難になりました。そんな時、車イスでもあれば…と、とても無理なことを考えました。でも、そんな風に思う妊婦さんは地震後とても多かったのでは…。(でも今でも道がガタガタでベビーカーも動かす事が大変だからとてもムリですね。)

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 3月30日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

とにかく、病院を開けて、診察して欲しかった。そのためには、水・電気など迅速に対応してほしい。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月30日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

何かあった時に近くの病院でどこがあるかの情報が早く伝わるようにしてほしい。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月31日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市須磨区

できるだけことを希望する。栄養、衛生、安心(精神面で)

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 3月31日 妊娠週数: 19週 帝王切開  
出産病医院の住所: 西宮市

援助面では、ミルクの支給であればお湯がある事も忘れずに考えなくてはいけないし、ほ乳びんも消毒しなくてはならない事も考えてほしい。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 4月1日 妊娠週数: 38週 帝王切開  
出産病医院の住所: 西宮市

一刻も早い対策と対応を希望します。正確な情報をながして頂くことを希望します。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 4月1日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

避難所等にいる場合にはそれなりに情報や食料も得られたようですが、自宅にいる人には何の援助もなかったの、そのあたりを改善してもらいたい。又、もう少し早い時機にそれぞれの病院等から個別に連絡があればよかったと思う。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 4月1日 妊娠週数: 40週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

この度は水が通らず困られた方も多いが、赤ん坊などはどうしたのが今になって思えば、とても不衛生な状態だったと思う。後になってからの方が子供達も心に不安が見られたので、その面でもケアをしっかりしてもらいたいと思います。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 4月2日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市中央区

今回の地震後検診を受けようと思いつく近くの産婦人科医に連絡をとったところ地震前から受診していた人以外は診察できない(対応する機能が整わないということ)という返答が何件もありとても困りました。妊娠8カ月でしたが月に1回位しか検診がうけられなかったのとても不安でした。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 4月2日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

高層マンションの為エレベーターが使えなくなると買い物や水の配給にも行くことが出来ず何らかの援助が欲しかった。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 4月3日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

診察日にかかわらず、異常がないかどうかの無料診断をしてほしいと思います。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 4月 3日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 多紀郡

今回の地震などでは 特に、精神的  
ショックが大きかったので、身体はもちろん  
ですが、その辺りのケアを十分にしてい  
ただきたい。（病院を かわらなければなら  
ない場合もあるので）

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日： 4月 3日 妊娠週数： 30 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

非常事態の時に対応できる産院の確保  
と、その病院の紹介、又、いざという時の  
為、助産婦を、派遣できるようにして家で  
（常日頃から）お産できるようにする。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日： 4月 3日 妊娠週数： 40 週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

何があってもすぐ病院にいてもら  
えるように。たとえばこの間などなにか  
あっても病院もみてもらえない状態だっ  
たので交通や他の病院への移動ネットワ  
ークをすばやく。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 4月 4日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

急に陣痛などが起こると不安なのでど  
うすればよいか？精神的な面ですごくスト  
レスが大きかったのでそのケアはどうす  
ればよいか？

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 4月 4日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

- ・ 救急診療所の充実。  
ショックで陣痛がはじまった時etcに安心  
してお産できる。
- ・ 産後のアフターケア（特に赤ちゃんの）

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日： 4月 4日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

どのような事態でも、安心してお産で  
きる設備や場所がほしい。ガス・水道・電  
気がでなかったら、遠い地方の病院など  
空いている所をさがさないといけないの  
で不安になります。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日： 4月 5日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

地震のあと数日後私は40度近い高熱が  
出て病院へ行こうとしたが下敷きにな  
った人や死んだ人でいっぱいでもら  
える状態じゃなかった。自分一人なら  
いいけどおなかの子供がすごく心配な  
ので実家まで帰っててもらった。そん  
なとき何とか近くでみてほしかった。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日： 4月 5日 妊娠週数： 38 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 尼崎市

地震後、給水車が来てくれましたが、  
水を家まで運ぶのが大変でした。援助  
物資なども体育館や市役所まで取りに  
いくことが出来ず大変でした。せめて  
、紙おしめやミルクなど赤ちゃんに関  
係するものは病院でもらえたらと思  
いました。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日： 4月 6日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

避難先（大阪でした）の近くの産科で  
とりあえず検診を受けて今後どこで産  
めるのかなやんでましたところ、「ここ  
での診療に必要」とのことで今まで受  
けた血液検査を全部やり直しというこ  
とになりました。問い合わせはあの混  
乱の中で難しいかなとも思いますが母  
子手帳に記録できるページ等があつた  
らどうか、と考えました。いろいろ物  
入りなときでそれだけで3万以上か  
かり大変でした。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日： 4月 6日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

優先的に入院する必要がなくても水、  
電気など使用できない場合、妊婦、赤  
ちゃんがいる人は大変困るので病院  
での援助をして欲しい。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日： 4月 7日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

ちょっとしたお腹の痛みでも少し  
でも入院できるようにしてほしかった。  
地震で気持ちも不安なことがあるので  
安心できるようにしてほしい。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 4月7日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

仮設優先の対象者として、おとしよりや体の不自由の人達だけじゃなく、妊産婦の人達も、対者に、加えてほしいです。妊婦の人は、ちょっとした事でも、気がめいたりして、気分的にもおちこみやすいです。それに、体も清潔にしないとイケません。こういう事は、なった本人でないとわからない事です。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 4月7日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 豊岡市

ゆっくりと横になれる様な場所の確保。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 4月8日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

どのような時でも妊婦さんは不安でいっぱいです。どんなささいな事でもしっかりと受けとめて接してもらえればと思います。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 4月8日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

妊娠中はみなさんよるこびと共に目に見えない赤ちゃんに対しての不安も大きいと思います。そんな時の非常事態は精神的にも大きいと思いました。小さな事でも心に対してのケアを希望します。(主治医の赤ちゃんは元気ですの一言で安心し体もおちつきました)

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 4月9日 妊娠週数: 41週 帝王切開  
出産病医院の住所: 西宮市

近所の医療施設(産婦人科)で受けられるよう日頃から“何かあればここへ”というように教えてほしい。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 4月9日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

内面的な所での治療が必要だと思います。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 4月9日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市東灘区

普段から、「災害時の妊婦の心得」などを産婦人科などで冊子にして配ってほしい。(緊急連絡先、妊婦用非常品リストなど)母親学級でも、避難訓練など実施してほしい。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 4月10日 妊娠週数: 41週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 豊岡市

私の場合地震の後すぐ実家へかえり精神的にも落ちつくことができたがこのような災害の時まず検診がうけて衛生面からも適した場所で早く落ちつけるようにしてほしい。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 4月10日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

今回の地震のあった日が母親学級受講日であったが地震のためまったく中止。精神的な動揺もある中出産できる病院の紹介をうけることもなく紹介状を渡されたのみ。地震により社会的にも混乱状態であっただろうが母親学級や検診などたよれるところもないのにまったくとほうにくれる状態になってしまった。こういう非常事態の時こそそっせんしてケアしてくれる施設や情報などを知りたかった。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 4月10日 妊娠週数: 38週 帝王切開  
出産病医院の住所: 西宮市

あのような非常事態では何事もがまんするしかなかったと思います。妊婦に大切な清潔、栄養もいってはいられなかった。それらはがまんできても精神的ストレスだけが不安でした。お腹がとてはりやすくなっていたのでとても不安でした。やはり情報や精神的ケアが一番大切だと思います。今回も病院と連絡がついたのは4、5日後でしたから。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 4月10日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 三田市

時節にもよると思いますが、寒い時であれば暖かく、(アンカやホカホカetc)暑い時は涼しく過ごせたらと思います。それと体を横にしていると、とっても楽でしたので簡易ベッドや寝袋があったらいいと思います。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 4月11日 妊娠週数: 40週 帝王切開  
出産病医院の住所: 尼崎市  
避難所生活はしんどい。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 4月11日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市東灘区

どのような場合でも分娩出来るような設備と精神的な支えとなる看護を希望したい。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 4月11日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

私の場合 地震の頃 おなかの赤ちゃんがよく動いていたので“ああ 生きてる大丈夫”と安心できたが、すぐ診検もしてもらえる様 希望します。自宅にいた為、物資などももらえず、だんなも仕事に行くようになり、買い物や水くみが大へんだったので改善してほしい。(うちは4階マンション4階でエレベーターがない。)

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 4月12日 妊娠週数: 37週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

- ・妊産婦、新生児の安全確保のため、それらの人の乗っている車両を優先して走行させる。
- ・体育館等に避難した妊婦の冷え防止のためのソックスなど配る。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 4月12日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

特に初産でなく上の子供が数人いる妊産婦は行動がとりにくいので水がない等誰かの援助があれば助かります。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 4月12日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

今回の地震では幸いに何事もなく無事出産でき(全壊の家の中で私になに一つ落ちてこなかったの)4才と2才の子がいるため精神的にも落ち込まなかったけれど心配事のあるとき相談にのってくれる窓口を決めて母子手帳等に記載してほしい。たとえばどこの病院へ行けば良いか 心の不安をきいてくれる人はいないかなど 電話すれば教えてくれるシステム)あのような非常事態の時、助かったのはまわりの人の好意でした 病院でも先生やナースにやさしくしてもらい、私はHappyな出産をしたのでピンとこなくてちゃんとこたえられずいません。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 4月12日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

- ・地震後、テレビで、神戸の避難所で、妊婦の検診(尿検査と超音波)をやっているのを見て、神戸だけではなく、自分の住んでいる所でも、やってほしいなと思った。おなかの子供が元気であるのか、すごく不安だった。
- ・精神的にもすごいダメージだったので、心理面での相談など、受けれたらいいと思う。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 4月13日 妊娠週数: 40週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 城崎市

私の入院中のことですが地震前に退院したベビーとお母さんが地震で実家、自分の家共全壊して避難所にも食事もミルクもなくこまめに病院に病室を一室かしくてと何度もこられと方がいました。そこで、小さい赤ちゃんをもっておられる方々に別に避難所ではなくても保健所を使えるようにするなど一カ所でもあればよいと思いました。食事とミルク、おしめ、お湯などの確保。急病などのとき、どこの病院、医院が開いていて診察をうけられるのかという情報提供が必要ではないかと考えます。



被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 4月13日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

水道が未復旧のとき給水車がきても妊婦のため水くみもできないし主人は仕事で昼間いないしで大変苦労した。できればミネラル水など妊婦のいる家などに配布できないか。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 4月13日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市須磨区

交通事情が悪くなった為だけの理由で信頼している病院をかえなければいけないような事にならないように、通院がスムーズにできる方法はないのでしょうか。ちなみに私は毎週3~4時間かけて通院しました。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 4月14日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

- ・ライフライン(水道、電気、ガス)の確保。食料品 赤ちゃんの衣類、ミルク
- ・急なお産のための病院、ベット等の確保

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 4月14日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

ゆっくりくつろげるスペースがほしい。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 4月14日 妊娠週数: 39週 帝王切開  
出産病医院の住所: 西宮市

医師や保健婦さんお訪問ケアまたは、公共の施設等を使つての母子共の集団検診。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 4月14日 妊娠週数: 40週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

- ・食事(水もガスもなかったため、レトルト食品にせざるをえず、塩分のとりすぎで、むくみがでてしまった。)
- おふろ(非常に遠くまで、寒い中 銭湯へ行くのがつらかった。)

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 4月14日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

災害時には、交通の便が悪い事が多く、妊産婦の行動範囲に限られる為、出張(避難場所などへ)の検診や、清潔面なども大事な事なので、お風呂の事などを、早急に行なわれる事を希望します。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 4月15日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市灘区

妊婦の時は安心して相談にのってもらえる専門機関を24時間で設置してほしい(地震というおもいもよらない事が起こり妊娠だけでもナーバスになっているのに精神的及び肉体的ダメージはそうとうだったので希望したい) 出産後思うことは粉ミルクの買い置きはしていても肝心な水は私自身あまり買い置きしていないため赤ちゃんのために水を確保し配送してくれる機関が欲しい。又それらをいち早く情報として公開してくれる機会及び団体も希望したいです。

被災時住所: 西宮市 初産婦  
出産日: 4月15日 妊娠週数: 37週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

水が出なかったりガスが使えず、お風呂など困ると思うのでその辺り。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 4月16日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

実家に避難してしまつたのでその近くで3回と自宅へ戻つてからも最初の病院が修理中なので1回別の産婦人科で診察していただきました。幸いどちらも親切に診ていただきましたが自分で探して初めての病院ということで多少不安でした。この様なとき他の病院を紹介してもらえるなど病院間でのネットワークがあれば安心できるように思います。

被災時住所: 西宮市 経産婦  
出産日: 4月16日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

精神的な面で かなり不安になると思うので、できるだけ隠さずに、状況を教えて頂き、安心させてもらえる事が一番だと思っています。

被災時住所： 西宮市 経産婦  
出産日：4月17日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

定期検診を受ける時、平常は電車を通っていましたが、地震で電車が不通になり、バスで通いましたが、余裕をもって出ても、渋滞で遅れたり長時間かかったので通院がたいへんでしたので非常の時だけでも、病院間で連絡をとって頂いて近くで受診できるようにするか、巡回して頂けたらと思いました。

被災時住所： 西宮市 初産婦  
出産日：4月18日 妊娠週数：37週 帝王切開  
出産病医院の住所： 西宮市

援助物資等の配給が公園等の為、寒い中長時間並んだり、重い物を持ってない身なので、何一つ、手に入らなかった。（給水車へも行けない）市役所へ行っても、「時間外」「手続していない」等で 何も手に入らず、親類宅へ身を寄せるより仕方がなかった。妊婦に限らず老人など避難所生活をする程ではないが家に一人で居る者が一番困ったと思う。「取り来たら渡す」ではなく「取りに来れない者」への配慮が欲しい。

被災時住所： 芦屋市 初産婦  
出産日：1月18日 妊娠週数：40週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 芦屋市

今回地震で通常の入院をしていない（例えば子供が産湯につけてもらえず通常の食事もとれず出産後シャワーも使えず等々）にもかかわらず妊娠で保険がきかないということから全然入院費の免除してもらえなかった。以上は〇〇県医師会からの指示らしくもう少し考えてくれてもいいのではないか。

被災時住所： 芦屋市 経産婦  
出産日：1月22日 妊娠週数：35週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

診療を行うことの可能な医院を、すぐ、知らせてほしい。あと、できる限りの受け入れをしてほしい。（今回は、それで、助かりました）

被災時住所： 芦屋市 初産婦  
出産日：1月27日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市須磨区

出産予定日が近づいたら入院できるようにしてほしい。理由は、交通渋滞がひどく病院へいくのに時間がかかるため。

被災時住所： 芦屋市 経産婦  
出産日：2月2日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所： 城崎郡

妊産婦を（出産できる病院）を受け入れられる病院をすぐ情報を入手できると安心できるのでは。いつ生まれるのかわからないという不安がいちばんこわかったように思います。

被災時住所： 芦屋市 初産婦  
出産日：2月4日 妊娠週数：40週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

交通網がままならない場合 妊婦は動けなくなります。本当は地震の次の日に検診する予定だったのですが1週間家から動けない状態でした。その間はとても不安でした。自分のわからないところで異常が起こっているのではないかなど、医師の側から動いていただけたらうれしいと思います。

被災時住所： 芦屋市 経産婦  
出産日：2月7日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所： 芦屋市

妊娠9ヵ月からすでに子宮口が3cm開いており早産止めの薬を服用し、1月からは毎週検診を受けなければいけなかったのに病院へいく交通手段がなく地震から1週間後神戸市兵庫区で無料の検診があったが遠方で行けず地震の翌日水をもらうため小学校の校庭で2時間並んだ時はとても大変でした。その後も2才の娘の手をひきベビーカーにペットボトルを数本つんで毎日水をもらいに行きました。一度もボランティアの人には会いませんでした。お風呂にも大変困り入浴できたのは地震から2週間後 片道30分歩いて自衛隊のお風呂へ、近くの避難所になっている小学校にあたらと思いません。色々大変でしたが無事元気な赤ちゃんが生まれ病院のDr、ナースの皆さん、病院まで搬走していただいた救急隊員の皆様に感謝申し上げます。

被災時住所： 芦屋市 経産婦  
出産日：2月10日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 芦屋市

検診が受けられなかったので不安でした。近くにそのような診療所の設置をしてほしいと思った。

被災時住所： 芦屋市 初産婦  
出産日：2月14日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 川西市

今回の地震の時と同様に被災されたかたに医療費の軽減はもちろんのこと被災されていないかたの医療費の軽減も望みます。産婦人科の妊婦検診は保健がきかないため1回、1回の定期検診料は災害直後だと大変負担になるものです。私の場合芦屋の自宅で地震にあいました。被災こそしませんがそのころ、ちょうど臨月にはいったところで私自身大変恐ろしい思いをしました。それよりもなによりもお腹の赤ちゃんのことがとても心配で実家のちかくのかかりつけの産婦人科にとでいきました。異常もなくなくホットとして定期検診日以外の日に診てもらったのですが、それも安心料だと思って初診診療をはいりました。災害直後は被災していなくとも経済的にもとても大変です。そのため災害後の1回分の診療費を軽減していただくだけでも大変助かります。

被災時住所： 芦屋市 経産婦  
出産日：2月27日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

緊急を要するとき妊産婦専用の電話番号などあれば優先して色々手配してもらえるかも。そこへかけると大丈夫だというダイヤルがあれば安心じゃないでしょうか。

被災時住所： 芦屋市 経産婦  
出産日：2月28日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

私の通った病院では診察をして薬を出してくれておちついて処置をしてくださいましたそのときの先生の言葉で安心できて出産に望むこともできました。だからこうしてほしいとかの希望は思い当たりません。

被災時住所： 芦屋市 経産婦  
出産日：2月28日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 芦屋市

市外の産婦人科で、友だちが入院して子どもが生まれてから地震がありました。その時、1週間も入院さしてもらえず、きんきゅうの患者がどんだんきたので、おい出されたいです。〇〇病院では、どうか知りませんが、そのようなことがないように、安心して1週間いさせてほしいです。生まれたての赤ちゃん（1週間後）を、家で、お風呂に入れるとき、ガスが出なかったら、すごく不便でした。何か、いい方法がないのかと思います。大きいヤカンがない時は、すごく困る。ガスボンベのコンロで、お湯をわかして、大きいヤカン2つ分じゃないと、足りない。

被災時住所： 芦屋市 初産婦  
出産日：3月6日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市東灘区

災害にもよるが即食べるものに困ったので特に妊産婦の食料は各保健所等で用意してほしいです。ずっとインスタントというわけにはいかずかといって身重で交通便もなく歩いて配給をまっているとトイレのがまんもできない。また、経済的にも苦しくなるので出産費用の援助を希望する。

被災時住所： 芦屋市 経産婦  
出産日：3月7日 妊娠週数：39週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 神戸市中央区

精神的なカウンセリング。（ショックで不安になるので、相談出来る）

被災時住所： 芦屋市 経産婦  
出産日：3月8日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

災害などで妊産婦に異常がおこった場合の緊急的な処置はもちろん精神的な部分での援助も家族や周囲のひとにも心がけてもらいたい。

被災時住所: 芦屋市 初産婦  
出産日: 3月8日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市中央区

ただでさえ情報不安定な時です。心のケアをより大切にさせていただきたいです。他府県の病院に変らなければいけなくなった時にでも快く受け入れて頂きたいです。(今回も5件電話した内、受け入れてもらえるのは1件だけでした)  
妊産婦を乗せた車両は優先的に道路を通して欲しい。通院に苦労しました。

被災時住所: 芦屋市 経産婦  
出産日: 3月8日 妊娠週数: 40週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

地震の時は34週目ぐらいでした。その日は芦屋の山の方にある小学校の避難所まで歩き、そこで1日過ごしました。そこは人数もそれ程多くなく近所の方々がいろいろもってきてくださったのであたたかくすごすことができました。妊婦は私だけでしたが、避難所のすぐ近くにお医者さんが住んでおられて(産婦人科ではないけれど)「何かあればすぐ私にいいに来て下さい」と言って下さったので気持ちがとても楽でした。その後、四国(徳島)までいき、□□病院で2回程検診を受け、また神戸に戻り親戚の家ずっといました。私のいとこたちが、みんな△△病院でうんでいたの、○○先生にお願いし、○○病院で出産することにしました。急なことでしたが、こころよく受けて下さり本当にありがたく思いました。また、入院期間も2週間にのばしていただきました。私の場合、何の問題もなく元気に赤ちゃんを産むことができたので、本当にありがたいことです。本当に○○先生にはお世話になり感謝しています。

被災時住所: 芦屋市 経産婦  
出産日: 3月14日 妊娠週数: 29週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

昔から「妊娠は病気ではない」といわれますが、自分の体の中にもう一つの命を育てているわけですから、非常時には、そのもう一つの命を守らなければなりません。不安でいっぱいです。“心のケア”をお願いしたいです。

被災時住所: 芦屋市 経産婦  
出産日: 3月20日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 芦屋市

私の場合元の病院がなくなっても○○病院での出産にあたり大して支障もなかったが検診等日本中どこでも気持ちよく受け入れてくれる姿勢が必要であると思った。(知り合いの産科の先生にいわずとその病院での出産予定でない妊婦の検診は受け入れてもらいにいと聞いたので)

被災時住所: 芦屋市 初産婦  
出産日: 3月20日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市灘区

すぐに落ちついて休める所が欲しい。すぐに病院まで行けないので、子供の心音とか状態が知りたい。

被災時住所: 芦屋市 初産婦  
出産日: 3月26日 妊娠週数: 37週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市中央区

今回の地震では水で困られた方が多かったと思います。妊産婦にとっては水運び、避難所生活をされた方はもちろんのこと食事面でもお腹の赤ちゃんへの心配を感じながら生活されたことと思います。私の場合は、会社の寮ということもあって、水運びの荷台を1棟に何台とかボランティアの方々が水運びをしてくださったりと大変助かりましたが…

被災時住所: 芦屋市 初産婦  
出産日: 3月30日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 芦屋市

避難所では小さな子どもやおとしよりは優遇されずなのですが妊婦の私は他の大人の人と同じあつかいでした。又、水くみは時間制限があったので大変でした。主人は早朝から夜まで仕事なので私が水くみに行っていましたその都度おなかのはり大変疲れました。

被災時住所： 芦屋市 初産婦  
出産日： 4月 2日 妊娠週数： 41 週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 西宮市

10カ月で転院をしなくてはならなくなつて、受け入れてくれる病院を考えました。診察している病院を知りたいと思った。

震災後は神経がかびんになり、少しでもゆれると不安に恐われてしまうようになってしまった。だから災害後の心のケアが絶対に必要だと思います。（災害後の出産への不安やおなかの赤ちゃんの心配、不安などがたくさんでくると思うのでそれを聴いてくれて、理解してくれる人が訪問してほしいと思いました。特に近くに親がいない妊婦さんにはとても必要だと思います。

被災時住所： 芦屋市 経産婦  
出産日： 4月 3日 妊娠週数： 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区

出産費などの援助金をもっと増やしてほしい。

被災時住所： 芦屋市 初産婦  
出産日： 4月 7日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 芦屋市

- ・災害直後にミルク、おむつなどで困らないよう。
- ・赤ちゃんに良い環境の確保。衛生が保たれるように。

被災時住所： 芦屋市 初産婦  
出産日： 4月 8日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市垂水区

- ・私は芦屋の〇〇産婦人科に通っていましたが、そこはお産ができない所（里帰り出産するつもりだったのでそれでよいと思っておりましたが）、やはり大震災の後、交通もTELもない間、△△病院に行くまでとても不安でした。年末、前置胎盤で出血したばかりでしたので余計です。何とか情報が欲しかったと思います。受け入れてもらえる状態かどうか、産婦人科を中心にラジオ・新聞・避難所にはり出す等。
- ・地震後すぐ、やはり7~8カ月の体での水くみは大変でした。避難所に行きたくても寒くカゼをひきそうでしたし仕方なく家にいましたが、避難所にいないと食料がもらえないなんて不自然。母子手帳を見せたら何とか優先にして欲しい、自分ではなくお腹の子供にレトルトばかりでは赤ちゃんがかわいそうだった。

被災時住所： 芦屋市 初産婦  
出産日： 4月10日 妊娠週数： 40 週 吸引分娩  
出産病医院の住所： 芦屋市

- ・救急時に起こりやすい症状に対してどのようにしたらよいのか、救急連絡先も含め、母親学級等で教えておいてほしい。（すぐに医師に見てもらえない時の応急処置、また、気を付けた方がよい事等）

被災時住所： 芦屋市 経産婦  
出産日： 4月15日 妊娠週数： 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市東灘区

とにかく病院へ行く交通が地震の時なかった。

被災時住所： 芦屋市 初産婦  
出産日： 4月17日 妊娠週数： 37 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 西宮市

今回の地震では1週間ほど入浴できなかった。私は実家（同じ芦屋市内）にもっといてお風呂がガスではなく、ボイラーだったため2週間で入浴することができた。でもそれまでは親戚の家へ行ったりサウナ（大阪）へいったりと大変だった。私みたいに家で入浴できない妊婦さんは仮設のお風呂や銭湯等に行っていたのだと思う。他の一般の人達と一緒にのお湯というのは気分的にもあまりよくないと思う。病院等で妊婦さん用のお風呂とうを用意してあげられればと思う。

被災時住所： 川西市 経産婦  
出産日： 1月18日 妊娠週数： 36 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 川西市

医療スタッフの増員を希望します。

被災時住所： 川西市 経産婦  
出産日： 1月19日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 川西市

ふつうの体ではないのでやはりおなかのこどもは心配。すぐにみてもらえるような体制にしてもらいたい。

被災時住所： 川西市 初産婦  
出産日： 1月19日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 川西市

災害の時、即、妊婦を集め、予定日等、全ての状況を登録し、安心して、出産できるようなシステムをつくと良いと思う。たとえば、兵庫県の病院が、全て被害にあってしまったら大阪・滋賀・京都など近隣の件で出産できるように輸送方法・宿泊場など確保する…といったようなことです。

被災時住所： 川西市 初産婦  
出産日： 1月23日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 川西市

先の非常事態に際しては暖房がとまっていたにもかかわらず精一杯のことをしていただいたので無事元気な子供を生むことができた。むしろその後のメンタルケアを必要としたPTSD(?)とまでいかななくても乳児を抱えてめちゃくちゃな精神状態になったが誰かに話しをきいてほしいと思ってもどうしていいかわからなかった。経験した者でないとわからないと思うが。

被災時住所： 川西市 経産婦  
出産日： 1月25日 妊娠週数： 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 川西市

今回の震災当日陣痛が来ていたのですが地震のショックで陣痛が遠のいてしまいました。その日が妊検の日で行くと一部停電と暖房がなくガスも止まり寒い外来で冷たい診察台に震えるようにして内診してもらいました。まず不安が一番でした。災害のレベルによると思いますが入院中も震災の関係でひどい病院食だった。ポカリスエットとパサパサのサンドイッチとかでも神戸の方よりはいいと思い耐えてましたが入院費用はしっかり40万円支払いました。こんな震災をうけながらもどうして入院 分娩費が通常とかわらないのでしょうか。こんな不安のなか出産し余震のなかベビーを抱えふるえながら乳首をすわせ完全母乳を誓い努力しているのに妊婦は安心して一番の条件だと思います。分娩費の助成があってもいいのではないのでしょうか。これは家屋の破損だけに関わらないと思います。

被災時住所： 川西市 経産婦  
出産日： 1月26日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 川西市

正常分娩の場合寒くなければなんとかなるかもしれないが未熟児など異常があれば停電などは怖いと思う。病院はどんなことがあっても万全であってほしい。神戸など被害がひどかった地域の赤ちゃんのミルクや紙おむつがたりなかったらしく大変だったろうと思う。食料と同じくらい重要に援助すべき。

被災時住所： 川西市 経産婦  
出産日： 1月27日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 川西市

今回の地震で家から主人の会社まで車で20分ほどでいけるのですが1時間半ほどかかるようになり出産がちかずにいたので陣痛がきてから会社に電話して帰ってきてもらえるのかと心配だった。交通、足の便などを確保してほしい。

被災時住所： 川西市 初産婦  
出産日： 1月27日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 伊丹市

生まれた赤ちゃんに対して非常事態等にかかわらず普通の対応が出来るようつねに準備しておいてほしい。

被災時住所： 川西市 経産婦  
出産日： 1月28日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 川西市

- ・自分が通院していた病院で、できる限り、出産できる様に準備しておいていただきたい。各病院（個人病院を含む）だけでもライフラインを整え、薬なども一速く。
- ・病院の情報提供。

被災時住所： 川西市 経産婦  
出産日：1月30日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：川西市

妊産婦だけに限らず医師、看護婦だけに頼らず最低限個人ができる処置方法等学校の保健体育の時間に組み入れつつ、いかなるとき時でも対応できるようになっていたら助けあって少しでも早い治療等が出来るのではないかと思うし近隣の人々の付き合い等大切だと思います。又他府県への救急患者の輸送をヘリコプター等使用出来る病院を増やし病院同士の横のつながりを強くしてほしいと思います。病院のライフラインも自家発電や地下に水を溜める等など一般とは別に動けるようにもっとすべきだと思います。建物もより安全な物があるようお願いいたします。

被災時住所： 川西市 経産婦  
出産日：2月1日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：川西市

安全に出産できること。出産後、今まで通りの医療をしてもらいたい。

被災時住所： 川西市 経産婦  
出産日：2月3日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所：川西市

あらゆる非常事態の場合でも安心して分娩、その他の処置が受けられるような場所の確保が必要だと思う。被災地からその場所にいくのが困難な時は医師が来てくれるか、もしくはヘリコプター、救急車などで搬送してもらいたい。入院設備のある医療機関は非常事態に際しても通常の業務が行えるようになっていて欲しい。

被災時住所： 川西市 経産婦  
出産日：2月3日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：川西市

普段より身ごもっているため心配事も増えると思います。自分の事は自分でわかることも多いですがお腹の中のことはよくわからずとにく不安になると思います。今回私の所は被害も少なく実親が一緒にいたので平気でしたが……心のケアを……相談などきいてもらえれば。

被災時住所： 川西市 経産婦  
出産日：2月3日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：川西市

安心して生める場所。

被災時住所： 川西市 初産婦  
出産日：2月4日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：川西市

出産のとき水と電気がなかったのでさむさと赤ちゃんのおふろがなくてかわいそうだった。べつに援助などなかったしあったとしても私はしらなかったです。

被災時住所： 川西市 初産婦  
出産日：2月7日 妊娠週数：40週 吸引分娩  
出産病医院の住所：川西市

住居に被害を受けられた方や家族に（本人も）けが人や死亡者がいる場合、医療費を免除してほしい。

被災時住所： 川西市 経産婦  
出産日：2月8日 妊娠週数：37週 自然分娩  
出産病医院の住所：川西市

水、ミルク、おむつなどの迅速な配給。少なくとも「生まれた赤ちゃんは大丈夫」といえる物資面と精神面での安定を望みます。

被災時住所： 川西市 経産婦  
出産日：2月10日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：川西市

精神的な安心感。ガスが半月とまっていたとても不安でした（赤ちゃんのおふろ）

被災時住所： 川西市 初産婦  
出産日：2月10日 妊娠週数：41週 吸引分娩  
出産病医院の住所：川西市

妊娠時は精神的に充実している反面どこかしら絶えず出産への不安（元気で産まれてくるだろうか等）を抱いているのでそういう特別な事態にはできるかぎりの安心材料（物質面、人間的）を整える努力をしていただきたい。

被災時住所： 川西市 初産婦  
出産日：2月10日 妊娠週数：37週 自然分娩  
出産病医院の住所：川西市

寒い時にガスが止まって、お風呂に入れなくてつらかった。体をリラックスでき、あたたまるので、気分転換の為にも、どこかで優先的に入れてくれる所があればいいと思った。

被災時住所：川西市 初産婦  
出産日：2月11日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：川西市

安心して眠れる場所・環境の確保と、体の異変に対応できる人材や施設を、迅速に用意して頂きたい。やはり、母親の内外面の異変が、胎児にかなりの影響があると実感しました。

被災時住所：川西市 初産婦  
出産日：2月13日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：川西市

火事や洪水などにあうと非常事態なので保険が出るとか安くなるとかを希望します。

被災時住所：川西市 初産婦  
出産日：2月13日 妊娠週数：38週 吸引分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

一番必要とされる、電気、ガス、水、かくほ。夜間の火事などによる、ひなんけいりなど、人不足なども考えられますので…

被災時住所：川西市 初産婦  
出産日：2月16日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：川西市

何か非常事態にはすぐ患者のためにそれぞれの病院を手分けして伝えてほしい。

被災時住所：川西市 経産婦  
出産日：2月17日 妊娠週数：38週 帝王切開  
出産病医院の住所：川西市

勝手とは思いますが最優先でケアしていただきたい。

被災時住所：川西市 経産婦  
出産日：2月20日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：川西市

ガスが実家でも止まってしまって湯がほしかつたのでみんなにきくと（赤ちゃんを）ポットのおゆでふいてあげていただきます。私自身もおんせんなどにいったのでおふろはこまりました。あと赤ちゃんようひんにたいしての援助は1番にしてほしいです。おとなよりもまんができません

被災時住所：川西市 経産婦  
出産日：2月23日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：川西市

- ・無料の検診（事態後の母体、子の変化、本人の自覚のない変化を調べる）
- ・妊産婦のいる家族を対象に避難場所への優先入居。

被災時住所：川西市 経産婦  
出産日：2月25日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：川西市

地震後、何週間もガスが止まり、その中で、何人かの人が出産されたと聞いてますが、新生児室や病室は、寒さのため、不安だったろうと思います。ガス。その他のものがストップした場合、すぐ、対応できるようにお願いします。

被災時住所：川西市 初産婦  
出産日：2月26日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：川西市

産婦人科医や助産婦といつでも相談できる機関があれば安心。（電話でも）そこでいざというときの医療機関を紹介してもらいたい。とにかくもっとも大変なのは乳児をかかえたお母さん方だと思います。

被災時住所：川西市 初産婦  
出産日：2月27日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：川西市

- ・即入院が可であること。
- ・外出できない場合の出張してもらえること。

被災時住所：川西市 初産婦  
出産日：3月6日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：川西市

ライフラインが完全復旧するまでかなりの日数がかかった。清潔に体を保たなければいけない妊婦や新生児に対して何らかの助けがほしかった。遠方まで銭湯へいったり温泉へいったり早産の可能性があるのに行かなければならず体力的にも経済的にも大きな負担であった。



被災時住所: 川西市 経産婦  
出産日: 3月7日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 川西市

精神的に安らげる、不安な気持ちが消えていくという 医師、看護婦の態度と言葉が一番ありがたく思います…

被災時住所: 川西市 経産婦  
出産日: 3月10日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 川西市

非常事態限らず救急の先制看護婦さんをふやしてほしい。妊娠中のおなかの痛いとき待たされたので

被災時住所: 川西市 経産婦  
出産日: 3月10日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 川西市

冬に妊娠中だとガスを止められるのは本当につらいものでした。おりものなどで不潔になるうえ冷えるので優先的にお風呂へ入れるとかムリが多いと思いますが入浴サービスが受けられるとありがたかったです。

被災時住所: 川西市 初産婦  
出産日: 3月14日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

テレビ、ラジオ等で、被害のない病院、すぐ受診できる病院等を文字放送でもいいから流す事。

被災時住所: 川西市 初産婦  
出産日: 3月16日 妊娠週数: 32週 自然分娩  
出産病医院の住所: 川西市

ライフラインが確保できる設備を整える。災害時に適切な行動のとれる訓練等を十分にしておいてほしい。

被災時住所: 川西市 初産婦  
出産日: 3月17日 妊娠週数: 40週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

妊娠中(後期)に地震があり、地震後、あきらかに不安で不眠になりました。その後の余震のためもありましたが。精神面のケアも必要ですね。母親学級、診察以外に、看護婦さん、助産婦さんなどと会話(相談)出来る場所があったらと思いました。でもケースワーカーの仕事になるから個人医院には負担大きくなりますね。

被災時住所: 川西市 初産婦  
出産日: 3月18日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 川西市

まず第一におなかの赤ちゃんは大丈夫かどうか、心配だと思うので、妊婦全員がすぐに検診を受けられると良いと思います。物事を悪い方へ考えてしまい、母子共に悪影響を及ぼさないように、きちんとお医者さんと話ができれば、妊婦も安心できます。心の問題が、一番重要だと思います。

被災時住所: 川西市 初産婦  
出産日: 3月19日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 川西市

自分自身は今回の地震でも被害はほとんどなかったし、性格的にも楽家だが、やはり妊娠中は自分1人の身体じゃないという思いがあるので精神面をケアすることが必要になってくると思う。ストレスで母乳が止まることもある位妊娠中はデリケートな身体(それこそ1人の身体ではないという不思議な感じ)なので誰にもたいしてだけれど特に気をつけて欲しい。

被災時住所: 川西市 経産婦  
出産日: 3月19日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 川西市

・出産間近に災害に合った時、病院につくまでの交通手段が心配。。

被災時住所: 川西市 初産婦  
出産日: 3月20日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

非常事態により早産になったり産後母乳が止まってしまったりと話はきいています一番にやはり医師によりひんかいな診察とお腹の中の子供の状態(大丈夫ですよ)の一言でもいいから声をかけてほしい。

被災時住所: 川西市 初産婦  
出産日: 3月22日 妊娠週数: 41週 帝王切開  
出産病医院の住所: 川西市

地震の後8時頃までお腹が張ったまま、全く動かなくなりました。その時は夢中できずかなかったのですが後で少し不安になりました。でんわもつうじななかったので、今思うと警察か市役所かなにか公共の施設が車で放送しながらじゅんかいしてもらえたら心強いかなと思ったりしています。

被災時住所： 川西市 経産婦  
出産日： 3月22日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 川西市  
安全で出産までを無事にすごせる場所の確保が必要だと思います。

被災時住所： 川西市 経産婦  
出産日： 3月23日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 尼崎市  
非常事態のときは妊婦はとても不安になりがちです。まず自分自身の事よりもお腹の子はだいじょうぶかと検診でみていただくまでがききありません。そんなときつねにくわしく経過などを教えていただくととても安心します。今回のお産までもそうでした。大変心強かったです。

被災時住所： 川西市 経産婦  
出産日： 3月27日 妊娠週数： 38 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 川西市  
地震後すぐに一応異常がないかどうか検診してほしい。自分では大丈夫だと思っても気がはっていてわからないこともあると思うので。

被災時住所： 川西市 経産婦  
出産日： 3月27日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 神戸市北区  
妊産婦は非常事態時、外に出る事は大変危険でありまして新生児をつれて配給の列にならぶ事もできない。主人や家族の助けがなければ、(直接家屋に非害がなくとも)ライフラインが停止した今回でも、水くみなどは出来るはずもなかった。又、検診へ行くにも交通渋滞できちんと受ける事が出来ず、市や政府は弱者の立場にたって、そうした家庭へ直接戸別に情報など提供して欲しかった。

被災時住所： 川西市 初産婦  
出産日： 3月29日 妊娠週数： 38 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 川西市  
電気・水の確保が第1だと思います。そして地震にも耐えられる施設。

被災時住所： 川西市 経産婦  
出産日： 4月4日 妊娠週数： 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 川西市  
早期の妊産婦の存在の把握と、ミルク・紙おむつの配布又、妊産婦の栄養保護。

被災時住所： 川西市 経産婦  
出産日： 4月5日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 川西市  
妊婦のけがの度合をみ連絡を密にしてほしい。

被災時住所： 川西市 経産婦  
出産日： 4月7日 妊娠週数： 38 週 帝王切開  
出産病医院の住所： 川西市  
入浴できなくて銭湯にいても妊産婦でもならばなくてはいけなくて2時間たちっぱなしでならんでいたためおなかがはって2-3回入浴できなくて帰ってきた。プール施設のシャワーなどが使えたらいいのにと思いました。(今は銭湯の数も少ない様では)救護物資などの情報がほとんどおぼろげでできず知った時はほとんどおわりましたといわれ買い物が大変だった。

被災時住所： 川西市 初産婦  
出産日： 4月8日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 川西市  
今回はガスが使えなくて大変不便なおもいをしたので子供を産んだ後だったら病院で赤ちゃんだけでもく欲させてもらえるといいと思った。

被災時住所： 川西市 経産婦  
出産日： 4月8日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 川西市  
何かあったときに「あそこの病院に行けばだいじょうぶ」といえるところがあると安心です。

被災時住所： 川西市 経産婦  
出産日： 4月12日 妊娠週数： 39 週 自然分娩  
出産病医院の住所： 川西市  
・非常事態にさいしての対応マニュアルなどをつくって普段よりしらしておくようにしてほしい。  
・事後妊婦の状態を把握するため来院者以外に相談窓口のようなものをもうけてスムーズに対応出来るシステムをつくり公的に広告してほしい。(ひとりで悩んでいる人、行きたくても長い間待たされることを考えて来院出来ない人などがいるから)

被災時住所: 川西市 経産婦  
出産日: 4月12日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 川西市

母親の精神的なものがお腹の赤ちゃんに大きな影響をあたえることがあるとききましたので、精神面のケア（心のゆとり）も大切だと思います。（実際私も大震災のあった日 主人が会社へ出かけた後、余震が続くなか今度地震がきたら1才の子供とお腹の子を私が守らなければという気持ちと不安で精神的にきんちょうがつづき陣痛のような腹痛があった

被災時住所: 川西市 初産婦  
出産日: 4月13日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 川西市

妊娠中は冷やしてはいけないので毛布や防寒用品は常に市町村の物資として備えておくべきだと思います。

被災時住所: 川西市 初産婦  
出産日: 4月13日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 川西市

次の診察日まで待たず、病院などに収容してもらいたい。

被災時住所: 川西市 経産婦  
出産日: 4月13日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 川西市

ガスの不通の為 お風呂に入りたくて苦労しました。銭湯と言っても妊婦では、とても勇気も気力もありませんでした。妊婦の人は、普段でも動きが取りにくく、小さい子供を連れて何時間も並んで 銭湯に行く…という現実が少し大変でした。その辺の事を今後善処して頂ければ…と思います。

被災時住所: 川西市 初産婦  
出産日: 4月14日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 川西市

- ・十分な水の確保。
- ・他都市（安全圏）への優先的な移動。
- ・他病院（安全圏）との密接な連絡、迅速な受け入れ体制をととのえる。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 1月17日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

電気・ガス・水道など、災害で停止するのはしかたがないことだと思うが特に病院では1分1秒でも早い普及が望まれると共に病院では水などの確保（優先）を考えてもらいたい。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 1月18日 妊娠週数: 38週 鉗子分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

1/18出産だったので産科とはいえ病院なのだから水ぐらい配給してほしい。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 1月19日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

むずかしい問題ですが産婦人科病院がそれぞれ震災があった時を考えていろいろ必要な物をストックしておいてほしいし、病院など一番に援助してほしい。

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 1月20日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

分娩が近づいて病院へ急ぐ時、交通渋滞などの不安がないようにしてほしい。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 1月21日 妊娠週数: 37週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

- ・お湯、ミルク、おむつ、赤ちゃんの衣類などを非常事態になっても確保してほしい。
- ・妊婦さんには避難所の床が固く冷たい所が多かったのもう少し温かい所を…

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 1月21日 妊娠週数: 41 週 帝王切開  
出産病医院の住所: 川西市

出産したのは被害が比較的少なかった川西であったが宝塚に住んでいたため宝塚で生むことにしていたら大変だったことだろうと思う。予定していた病院が災害等で出産出来なかった場合近隣ですぐ受診ができる体制にあってほしいしそういう情報がどこでえられるのかわかるようにしてほしい。災害4日後の出産だったのでよかったがもしその日にさんけずき交通機関通信がマヒしていて身動きが出来ない場合どうしたらいいかわからない。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 1月21日 妊娠週数: 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

幸いにも病院の被害は少なく、予定通り出産できましたが、病院が倒壊し出産できなくなった方が、他の病院をいそいで探している姿もみられました。前もって「この病院が何かあれば〇〇病院へ行って下さい」というような情報があればいいと思いました。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 1月22日 妊娠週数: 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

出産の後、病院の食事がおにぎりとかばかりでは、栄養がとれないので、もう少し考えて欲しい。(〇〇産婦人科は、そんな事はなかったですけど…)

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 1月23日 妊娠週数: 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

通院(検診を受けていた)していたところへ行けず新たに医院を探すときなかなかうけいれてもらえなかったので安全にお産ができる所を市などに紹介してほしい。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 1月23日 妊娠週数: 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

検診を受けている病院から電話でもいいので状態をきいてほしい。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 1月23日 妊娠週数: 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

- ・24時間医療ほとんどの病院で
- ・総合病院も24時間医療
- ・便利・安全

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 1月24日 妊娠週数: 40 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

断水、食事などの面が大変でした。だから最低の水や食料などは臨月の人だけでも配ってほしい。

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 1月24日 妊娠週数: 38 週 帝王切開  
出産病医院の住所: 宝塚市

地震の時はすでに病院に入院しており地震時より食事がバナナ1本とかおにぎり、パンと2人分の食事をとらないといけないうのにもかかわらずこれだけで食事だけは困りました。もうちょっと援助してもらいたかった。

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 1月24日 妊娠週数: 37 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

地震後しばらく薬局の店頭からごそーと紙おむつ、離乳食がきえたと聞きました私の場合はまだ生まれてなかったのですきほどあわてずにすみましたが赤ちゃんを抱えたお母さんにとって「産婦人科に行けばなんとかなる」と希望がもてるように新生児だけでなくもうすこし幅広く備蓄しておいて診察券があれば売ってもらえるようなシステムがあればいいと思います。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 1月24日 妊娠週数: 41 週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

1日も早い診療を望みます。特に、9カ月を過ぎる妊産婦に対して安心できますので。入院時の食事などのかくほをお願いします。

被災時住所：宝塚市 経産婦  
出産日：1月25日 妊娠週数：37週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市須磨区

病院でいる間は、良いのですが、退院後、精神的な事などで、母乳など出にくい事もあると思います。赤ちゃんにとって、ミルク・おむつなど必ずついてまわる物、手に、入らない事もよくあります。必ず手に入る様に手配してもらえればと思います。（できれば無料又は安価で!）

被災時住所：宝塚市 初産婦  
出産日：1月26日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

- ・入院時の食事情があまりにも悪かった。
- ・緊急時の食料分配を考慮して欲しい。

被災時住所：宝塚市 初産婦  
出産日：1月26日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

ただでさえ、妊娠、出産に対して不安なところが多いのに加え地震などの災害による精神的ショックはかなりのものであると思います。私自身いつ産まれてもいいといわれていたけれど余震がくるたびにおびえ、自宅も病院も水道、ガスがとまり生まれてきたらいったいどうなるのだろう。次同じような地震がきたら赤ちゃん守り切れるだろうかなど不安はつのるばかりでした。このような状況のなかで①母子手帳がなくても安心して誰でも受けられる検診②何でも相談できる窓口のようなもの③妊産婦 妊産婦の家族の受け入れ家庭④おむつ、ミルクなどの消耗品の確保⑤妊産婦の食事の確保（ガスがとめられ栄養がかたよりがちでスーパーに物がなく一家庭に牛乳1本、卵1パック、ラーメン4つまでなど制限されていた。妊産婦のいる家庭は優遇してほしい）⑥地震に備え分娩室などの安全対策（医療器具 薬剤の入ったビンが入っている棚の固定など一ぜんぶたおれてきました）⑦出産時の病院までの搬送手段（私は道路がこんでいて破水したけどバイクでいきました）

被災時住所：宝塚市 初産婦  
出産日：1月27日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

体調が心配なので電話で問い合わせたかったが、電話器をとっても回線が繋がらず不安だった。（やっと早朝に通じてほっとした）不安な間も 子供が動いているのがわかってそれだけがたよりだった。もし、まだ早朝で胎動が感じないときならすごく不安だったと思う。病院でせめて心音だけでも聞ける設備があればおちつけるのではないかと思いました。被災地で妊婦検診できるニュースをみまいたが、もっと早くみてもらえるようにしてほしいです。

被災時住所：宝塚市 初産婦  
出産日：1月29日 妊娠週数：37週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

- ・妊産婦は不安なことが多いので（診察でなくていいので）、相談コーナーのような誰でも気軽に診てくれる所を大病院にだけでもいいので設置してほしい。
- ・病院で、赤ちゃんグッズ（おむつ・ミルクなど）を配給してほしい。
- ・交通手段（病院までの）がなく困った。なんとかならないか。

被災時住所：宝塚市 初産婦  
出産日：1月29日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

- ・病院の建築の安全性を重視していただきたい。
- ・水道・電気・ガスの病院にたいする優先性。
- ・復旧工事も、優先的にされた方が良いと思いました。

被災時住所：宝塚市 経産婦  
出産日：1月30日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

今回の地震で電話回線がとだえ病院の被害状況がつかめず交通状態も悪いなかしゅじんが病院へ状況確認へ行ってくれ出産が可能だと知りました。予定日が近かった妊婦に連絡をとってくれていたらもっと安心出来たかと思う。（なんらかの形で連絡がとれる方法を考えて欲しい）

被災時住所：宝塚市 経産婦  
出産日：1月31日 妊娠週数：37週 帝王切開  
出産病医院の住所：宝塚市

〇〇病院では非常に良くしていただいたので別にありません。

被災時住所：宝塚市 初産婦  
出産日：1月31日 妊娠週数：38週 帝王切開  
出産病医院の住所：尼崎市

テレビなどを見ていて新生児が入浴できないなどのニュースをきき、なぜ半強制的にでも近くの他府県に移動させて適切な生活がされられないのかと腹がたちました。

被災時住所：宝塚市 経産婦  
出産日：1月31日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

- ・非常事態時の病院の受け入れの明確化。  
(普段からこういう事態の時はどこが代行してくれるかをフロチャート式に作成してくださっていたらうれしいと思います)
- ・出産予定病院では診察等が可能かどうか連絡とれやすいようにしてほしい。

被災時住所：宝塚市 経産婦  
出産日：2月1日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

今回、かかっていた〇〇病院がつぶれたことで、急きょ病院をかえるか、救急病院へ行ってくれと言われたが、とても不安になったので、できれば、その〇〇病院の△△さんに来てもらって、自宅分娩をするか、その別の病院に来てもらってつきそってもらいたかった。そういう風になっていたらいいと思うが、〇〇病院がつぶれたことでそれは、それで大変だったのでしょうから仕方ないですね。

被災時住所：宝塚市 初産婦  
出産日：2月2日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

- ・震災後自宅から病院への道路(R176)が大渋滞していたのでお産がはじまったらどういう手段で病院まで行けばよいのか不安でした。また、毎晩救急車、パトカー、消防車のサイレンで目がさめてしまいそのため眠りが浅くなったりしました。(余震のため)
- ・精神的な面での援助を希望します。

被災時住所：宝塚市 初産婦  
出産日：2月2日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

出産した後最低限の赤ちゃんの着る物を用意してほしい。もし、入院の為に用意したものが病院に持っていけない場合、新生児の物(おむつ、着る物)を売っている所が少ないので。

被災時住所：宝塚市 初産婦  
出産日：2月4日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：三田市

どのような状況においても、診察が可能な状況であってほしい。普段通っている病院に通えない場合、他の病院でも受け付けてもらえるとよいと思う。私の場合も、初診で一度見ていただいたので、地震後も見ていただいたので、安心して出産することができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

被災時住所：宝塚市 経産婦  
出産日：2月5日 妊娠週数：37週 自然分娩  
出産病医院の住所：尼崎市

大きなお腹だと急な移動が大変なので交通面で安心して移動できる体制にほしい。

被災時住所：宝塚市 経産婦  
出産日：2月5日 妊娠週数：35週 帝王切開  
出産病医院の住所：宝塚市

1/15より早産になりかけ入院中でしたが地震以後病院の食事がかなり少なくなった。(例：朝食みかん1個、昼食牛乳パン、夕食野菜のシチューのみ)。この状態が何週間と続いたため見舞の方々へ食べ物をいただくほかはなかった。もう少し食事の面だけでも配慮していただきたい。

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 2月5日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 姫路市

私の場合、産後生活する予定の夫の実家が全壊したため転院することになりましたが、その際受け入れ先となる病院(〇〇病院)の受け入れの対応の良さにホッと、安心して出産することができました。転院などどうしてもしなくてはならない際、安心して入院でき 医療間での情報の提供(出産は手帳があるので他の病気に比べ、データの一重どり(再検査)をしなくてもよいですが)ができるように、又、交通手段もたたれてしまい、道路事情も悪く通常ならすぐ行ける病院へも何時間かかるかわからない状態でしたので、緊急の際の交通手段の整備など検討していただきたいと思います。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 2月6日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

水、ガスが止まっていた為、赤ちゃんのお風呂もままならず実習も出来ない状態で、自分も退院までシャワーも使えなかったため、せめて、プロパンガスなどの使用をどうにかしてほしかった。(早く)

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 2月6日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

検診、分娩が出来る病院をテレビ ラジオ等で、はやく広告すること。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 2月9日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

- ・とりあえず診察してほしい。
- ・湯の確保(飲料、お風呂)

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 2月10日 妊娠週数: 38週 帝王切開  
出産病医院の住所: 宝塚市

今回の地震で通院中の病院が水道、ガス、電気などの使用ができなくなり出産までには何とか普及したものもし、まにあわなければ…と思うととても不安になりました。その辺の設備や患者の受け入れ体制などをもっとよくしてほしい。

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 2月11日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

出産当日、急に〇〇病院で受け入れて頂き感謝しています。他の産婦人科では断られましたので、非常にありがたかったです。車で向かったのですが、△△町から〇〇病院までの道路は大渋滞、約2時間かかりました。途中、〇〇警察の方にパトカーで先導して頂きましたが、やはり、交通の面で、スムーズにいくよう希望します。

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 2月13日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

やっぱり赤ちゃんのことが気になりますので、検診をしてくれる所、神戸の方はやっていたが、宝塚方面は電車が何日間か使えなかったのでふべんでした。私は友人の車で途中まで行き、1駅は歩きで病院まで行きましたが、9カ月後期の私は、すごくしんどかったです。(上の子を連れて)

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 2月14日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

妊産婦に限ったことではないのですが病院はどこよりもさきに水道、ガス、電気の3点を修復すべき。〇〇病院はガスが送れていて給食を作れず市役所につく救援物資のパン、牛乳、果物だけでした。出産前後は栄養がとても大切だと思うので。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 2月14日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

病院の状態等の情報を早く正確に欲しい

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 2月14日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

同時に あらゆる医療機関施設も被災しているわけですから十分な事を期待しませんが精神面でのケアを特に希望します。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 2月15日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

最低限の水や食料などは配給ですぐもらえる様にしてほしい。お風呂とかも入れないと特に妊婦はつらい。とにかく私はストレスがたまったので誰かに話を聞いてほしかったです。

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 2月16日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

確実に速く病院につけるよう 交通の確保してほしいです。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 2月18日 妊娠週数: 38週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

充実した医療体制。

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 2月18日 妊娠週数: 32週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

あちらこちらの病院で水がない、という事を聞き、検診に行くのをためらっていたため、早産に気付くのもおくれしてしまいました。どちらの病院なら、診さつがうけられるのか という情報を早く聞きたいと思えます。

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 2月18日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

地震で、3週間ガスが止まり、お風呂に入れなかったのが、とてもつらかったです。お腹が大きいので、銭湯にも行く気にもなれず、産婦人科などで、シャワーだけでも使わせていただければ、ありがたかったな、と思います。(私が行っていた産婦人科では、ガスも水道も、自宅より復旧が遅かったので、ダメでしたが…)

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 2月19日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

病院までいけなくなるおそれがあるのでできれば近くの避難指定場所などに救急処置をすぐしてもらえよう配りよしてほしいと思います。

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 2月19日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 姫路市

どのような事態が起っても対応出来るような設備、例えば電気や水等、緊急の手術に必要な器具など、整えておく事が大切だと思います。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 2月23日 妊娠週数: 38週 帝王切開  
出産病医院の住所: 宝塚市

食料品がレトルトなど塩分が多い食品が配給されたり、バランスのとれた食生活が送れなくなったので食料品を配慮してほしい。病院までの道が倒壊家屋などで危険なので考えて欲しい。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 2月23日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

予定日の翌日に病院が復旧しなんとか出産にこぎつけましたが地震後ずっと電話をかけても産科だとつげると取り合ってくれずとても不安になりました。市内の病院に頼んでもみな断われ〇〇病院など転々とリスクを覚悟で元の病院へ戻りました。妊産婦はみんな置き去りにされたといってもいいのではないのでしょうか。平穩時には丁寧すぎるほどの指導を受けていただけにみなさん呆然となったのでは……

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 2月26日 妊娠週数: 38週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

妊娠というのは、流産の時期を越えたらもう安心というのではないのを友達や義姉の経験でよくわかっています。だから妊産婦は地震や火災などではとてもショックを受けますしとても不安になります。出産というのは、手遅れになってしまうと大変なことになるので、一刻も早く、対応できるようにしてほしい。



被災時住所：宝塚市 経産婦  
出産日：2月28日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

私は地震当日の夜には大阪に避難することができたのでさほど不自由はなかったが上の子が1歳2カ月で私も身重だったのでそのまま自宅にいたら水道もガスも使えなくてさぞかし大変だったと思う。妊婦と2歳までの子供をかかえる家族には特に医療をすぐいけられる様にはいりよしてほしい。

被災時住所：宝塚市 初産婦  
出産日：2月28日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

ミルク、おむつ、水、離乳食等を十分に用意してほしい。ベット、医師とうも必要に応じて準備派遣してほしい。

被災時住所：宝塚市 経産婦  
出産日：2月28日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：尼崎市

私の住んでいる所では断水が長く続いたので給水車にお水をもらいにいきましたが住んでいるところが団地の3階なのでお水を持って上がるのがしんどかったなのでその点を少し考えて欲しい。

被災時住所：宝塚市 経産婦  
出産日：2月28日 妊娠週数：36週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

災害時に診療している産婦人科名・電話番号・もよりの駅をテレビラジオ等でもっと流してほしいと思いました。何もかもかが老人優先なのはおかしいと思う。

被災時住所：宝塚市 初産婦  
出産日：2月28日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

やはり長い間お風呂に入れなかったことがとてもつらかった。妊婦に対する水の支給などがもっときちんとしていたらよい。

被災時住所：宝塚市 初産婦  
出産日：3月2日 妊娠週数：32週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

阪神大震災がおこったとき9ヵ月に入っていました。初産というだけでも不安だったのに、いつもどきどきしていました。水ができるようになるまで1ヵ月半かかりガスは2ヵ月以上たってもまだということで大きなお腹をかかえお風呂にいきました。毎日というわけにもいかなかったので、患部がただれつらかったです。妊産婦は特に清潔にしないといけないと思います。

被災時住所：宝塚市 経産婦  
出産日：3月2日 妊娠週数：38週 帝王切開  
出産病医院の住所：宝塚市

ガスが長く（2月末まで）使用できずお風呂に困った。大きなおなかで混んでいるお風呂やへいくのも大変で数日に1回となりちつ炎となった。どこか利用しやすいところを使ってほしいと思いました。検診の往復、道路が混んでいて時間がかかり乗ったバスは途中で道路事情のため降ろされ長い道を歩きおなかがとてもはりました。

被災時住所：宝塚市 初産婦  
出産日：3月3日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：明石市

救援物資で粉ミルクやおむつ、入浴できるようにしてほしい。

被災時住所：宝塚市 経産婦  
出産日：3月5日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

いつでも、どこでも診察が受けられること。

被災時住所：宝塚市 初産婦  
出産日：3月6日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

- ・赤ん坊を育てるためには常に清潔な水、湯が必要なので非常事態の際産院や病院へいけば水、湯がもらえたり、赤ん坊に入浴されるようなシステムであってほしい。
- ・西宮市の産院で3月に出産したがその時点でまだガスが復旧していなかった。病院等の施設のライフラインはもっと迅速に復旧してほしい。

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 3月8日 妊娠週数: 40週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

今回寒い時期でしたのに 身体を冷やさず風邪をひかない様に気をつかいました。あたたかい毛布、配救などでくばられるあたたかい食事は何よりでした。皆が必死でしたのであまり特別扱いはなかったですが心も不安定な時やはり大切にさせていただくと安心するものです。

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 3月10日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

衛生上お風呂などの設備の充実。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 3月14日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

- ・水、電気が安定して確保され、医薬品等の医療機器に常に充実されていることが望ましいと思います。
- ・医師がいて、安心して受診できることが望ましいと思います。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 3月14日 妊娠週数: 32週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

早産などの心配をしていると思うので安心してその後をすごせるようにして欲しい。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 3月16日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

どのような事が起こっても出産というものは、止めることができないので、常に診療を受けられるような、体制をとっていただきたい。(私自身も今回の地震で診療を受けられるのか心配になりましたので)

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 3月17日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

- ・安心して診察してもらうこと。
- ・住居の確保(衣食住の保証)

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 3月17日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市東灘区

無理かもしれないが、1つ1つの病院がどんな状態であるか、診察しているのか、していないのかを、テレビ、新聞、ラジオで流してほしい。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 3月18日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

早産の危険がありました。もし、早産で未熟児の出産をしていた場合、未熟児の為にセンターに運ぶ必要があると伺いました。今度の震災では、交通網が混乱していましたので、早期に運ぶことができないことが考えられました。その為に命の危険があった訳ですが、そういった緊急時の救命システムと交通網の対策を希望します。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 3月20日 妊娠週数: 41週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

出産前はとても不安なのですぐ近くの病院でも相談などすぐ受け付けられる様にしたい。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 3月20日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

どこで、診察してもらえるのかなどの情報をもっとながしてほしい。24時間体制で診察してほしい。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 3月22日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

出産を予定していた医院から地震後連絡があり、水道、ガスが止まっているため転院するようすすめられた。(結局予定日までに復旧し無事もとの所で出産できたからよかったのだが)診療分娩ができる医院、病院のリストなどの情報があればあのときもっと安心できただろうと思う。大病院を除いては予約がいっぱいで途中ではいけないことも多いのではないかと思います。

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 3月22日 妊娠週数: 39週  
出産病医院の住所: 宝塚市

今回地震で診療不可となり、私も健診日に検診できないことを電話で言われたのですが、その場合、“もし何かあれば…の産婦人科でみてもらって下さい”の一言がほしかったです。自分のところで診療できなければどこか他を仮にあっせんしていただきたかったです。“診療できませんので”だけでは、とても不安になりました。

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 3月23日 妊娠週数: 38週 帝王切開  
出産病医院の住所: 宝塚市

私は帝王切開なので病院がだいじょうぶと聞くまで不安でしたので、もっと早く知りたかったと思いました。

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 3月24日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

実際の所がどこまで設備として、整っているのかわからない為、今回も本当の所、不安でした。とにかく、無事に赤ちゃんを出産し、母乳が出なくても赤ちゃんを養えるだけのミルク等の準備を希望します。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 3月25日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

いち早く安全なところへ避難できるような体制をつくってほしい。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 3月28日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

今回の地震後の場合、電車が不通になり、バスも本数が減ったりして、かなり、交通機関のマヒによる大変さがあった為、こういう災害の時等は、受付時間をのばしてほしかった。又、直後、1週間程(?)救急のみで、検診を予約していたが受けられなかった事もあり、「いつから元にもどるか、わからないし…」と言われたので、もっとはっきりして対応して心強さがほしかった。(とても不安だったので)

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 3月28日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

通院していた病院や先生なども、非害にうけた場合、もしもショックで早く陣痛がきても すぐ対応できる病院などれんらく先など、貼紙や事前におしえてほしい。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 3月28日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市  
精神的なケア。

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 3月29日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

交通の便がもともとあまり良くなかったが、さらに悪くなりまたバタバタしててしばらく検診をうけられなかった。まとめてどこかの会館などで簡単な診察や相談をしていただけたら助かります。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 3月29日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

・胎児は見えないので、妊婦はちょっとしたことでも赤ちゃんが具合が悪いのではと心配になります。今回のように 災害がおこるとどうしても病院にいけなくなったりと思うので、最低限の自分でできるチェック法を日頃から教えてほしいと思います。

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 3月30日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

私の主人の両親が3DKの私達の家に避難してきたのですが2才1ヵ月の上の子供もおり私自身も出血ぎみで体の調子が悪かったが気を使うことが多く大変だった。そんなとき仮設住宅に早くあててもらえば家族だけになりすこしは体もらくになれたのにとおもいました。(精神面のことですいません)前から検診とかを受けていなくても非常時にはすぐ見てくれる病院をふやしてほしいとおもいます。

被災時住所：宝塚市 初産婦  
出産日：3月30日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

私自身はほとんど被害を受けていないので、実際に体の具合が悪くなった方のような意見はのべられないのですが、やはり地震のゆれによる心のショックはこんな私でも大きく、その時は本当におなかの中の子供のことが心配でした。非常事態には、妊婦に、「大丈夫なんだ」と安心させてもらえるような専門医の診察があればうれしく思います。

被災時住所：宝塚市 初産婦  
出産日：3月31日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

- ・体を休めるところができる。夏なら涼しく冬は暖かく。
- ・食事ができる限りバランスよくいざ身体の調子が悪ければ24時間どこの医院であつても診療してもらえるシステム。

被災時住所：宝塚市 初産婦  
出産日：3月31日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

安定期で体調も良かったのですが、結局2回検診を受けられませんでした。（病院が、水、ガス等ストップの為）何も異常がなかったからよかったものの少し不安を感じました。臨時に検診してもらえる場所があれば…と思います。

被災時住所：宝塚市 経産婦  
出産日：4月2日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

妊産婦に対する医師や看護婦等十分に対応できるようにしてほしい（特に初妊婦は不安だったと思う）

被災時住所：宝塚市 初産婦  
出産日：4月2日 妊娠週数：40週 吸引分娩  
出産病医院の住所：西宮市

- ・安心して検診が受けられる施設。
- ・衛生的な場所での入浴や生活。
- ・保存食ではなく栄養のある食事。

被災時住所：宝塚市 経産婦  
出産日：4月2日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

予定日を過ぎた状態で自身にあった友人は、被災してしまったかかりつけの産婦人科医に連絡をとると、「それどころではない」と言われたそうです。予定日の近い人くらいにはせめて代わりの医者を必ず紹介してほしいと思う。

被災時住所：宝塚市 経産婦  
出産日：4月3日 妊娠週数：37週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

不安にさせないように安心して過ごせる場所の確保。

被災時住所：宝塚市 初産婦  
出産日：4月4日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

妊娠している期間は、とても精神的にも、肉体的にも、不安定な時期だと思えます。そんな時に病院に言った時に、先生方や看護婦さんの心づかいなどは、心にゆとりをもたせて下さいます。今回の震災の後にも何度か診てもらいにいきましたが、感じた事は、先生方のことばのやさしさでした。これからも、以上、やさしさなど希望します。

被災時住所：宝塚市 経産婦  
出産日：4月4日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

1月17日以降、何度も、出血しそのたびに来院したいと思うのですが、車が混雑していて 平常10分が2時間となるとどうしても行けなくて…とても困りました。

被災時住所：宝塚市 初産婦  
出産日：4月5日 妊娠週数：28週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

自宅マンション前の〇〇小学校が避難所になっており食べ物の配給のときの放送が「小さなおさんと老人のかた優先です」といっており妊婦はふくまれていないのか少し不思議だった。逆瀬川のジャスコの食品売場が1時から開店する情報があったが人がさっとうして8カ月の私はおされたりしたらとおもいこわくて買いだしにもいけずひたすら空腹だった。妊婦のために産婦人科が食物の配給を病院でするのはどうでしょうか。

被災時住所：宝塚市 初産婦  
出産日：4月5日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

- ・住宅が破損した場合、或いはライフラインが寸断されて住居に住めなくなった場合に優先的に避難所などへも避難を誘導する。
- ・仮設風呂などの優先的利用。（今回の震災の際長時間待った）
- ・転地先や避難先病院への受け入れシステムの確立。

被災時住所：宝塚市 経産婦  
出産日：4月6日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

今回の地震で、高齢者、妊婦、乳幼児がいる家庭は“優先的”に仮設住宅に入れるというようにニュース等でいっているにもかかわらず、いれていないという家族をたくさん知っています。同じ子供がいるものとして、とてもかわいそうに感じます。約束された事は、まもってほしいものです。宝塚は、水等がおそくて、検診の時断水でした。病院のまわりだけでも使えたらと思います。

被災時住所：宝塚市 初産婦  
出産日：4月7日 妊娠週数：41週  
出産病医院の住所：宝塚市

まず、自分が通院していた病院で受診できるのかどうか（今回のように電話も不通だと不安です）という情報が得られるようこと。受診できなければどこにいけばいいのか。今回のように全く連絡が取れない状況ならやはり他府県他国からの協力がなんらかの形で得られいりょうが実施させるとどこに病人や妊婦がいるかわからないので巡回でもされることを望んでいます。

被災時住所：宝塚市 初産婦  
出産日：4月7日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

収容施設及び備品を備えて置いて頂きたいと思います。

被災時住所：宝塚市 経産婦  
出産日：4月7日 妊娠週数：38週 帝王切開  
出産病医院の住所：神戸市北区

妊娠時期は普通の状態でも精神が不安定な時期なので非常時にはそのようなストレス、不安がお腹のなかの赤ちゃんにつたわっているはずだと思いますのでまず、すぐに検診のできるテントやレントゲン車のような車を用意して欲しいです。そうすることによって妊婦の不安を少しでも解消できるように思います。

被災時住所：宝塚市 経産婦  
出産日：4月7日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：尼崎市

できるだけ早期の適切な対応。

被災時住所：宝塚市 経産婦  
出産日：4月11日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：尼崎市

食べ物、または水が不足しないようにしてほしいです。

被災時住所：宝塚市 初産婦  
出産日：4月11日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：伊丹市

お年寄、子供達と同じようになるべく優先して欲しい。（いろんな面で。）

被災時住所：宝塚市 初産婦  
出産日：4月11日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

自分自身 転院をしようか すいぶん迷いました。内科、外科等と違って 婦人科はやはり“慣れた病院が一番”なので転院はしませんでした。それでも 状況によっては転院した方が良い時もあるでしょうし、スムーズに行われるようになっていればと思います。

被災時住所：宝塚市 経産婦  
出産日：4月11日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

妊産婦には優先に治療をしてもらえるようにして欲しい。

被災時住所: 宝塚市 経産婦  
出産日: 4月12日 妊娠週数: 39週 鉗子分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

- ・だれでも自由にみてもらえる臨時の診療施設をすぐに開設すべき(異常がないか心配だったのに今までの病院には通えず検診をうけるまでに時間がかかった)
- ・水がなくて困った。(行政の対応は非常におそかった)
- ・おむつなど早くくばってほしかった(どこでなにをくばっているのかまったくわからなかった)

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 4月14日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神崎郡

病院の休みの日でも、すぐに検診(診察)が受けられると良いと思う。痛み出血等、症状がなくても心配なのですぐにみてもらいたいと思うからです。他の地域に行つて診察を受けなければならないことも多いと思うし、どこの病院でもすぐにみてもらえたらいいと思います。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 4月15日 妊娠週数: 37週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市中央区

どこの病院へ行つても緊急時には対応してくれるようにしてもらえばよいと思う。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 4月15日 妊娠週数: 40週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

精神的にも不安定な時なので、妊産婦に対しての情報や、どこに行けばどのような援助が受けられるか、また、電話相談などがあれば良いと思います。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 4月15日 妊娠週数: 37週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

異常のある、なしにかかわらず 妊産婦に対して、診察を必ず行ってほしい。一言、「大丈夫です」と言われると安心するものです。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 4月15日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

- ・避難所に 老人、子供、身障者、妊婦、その他普通の人より不自由な立場にある人用にもっと、足をのばしてねかせるスペースがあれば…と思いました。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 4月16日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

断水のため給水車から水を運搬しなければならぬのがつらかった。援助があればありがたいががないのが当然だとは思っている。

被災時住所: 宝塚市 初産婦  
出産日: 4月17日 妊娠週数: 38週 鉗子分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

私の経験で申し上げますが、今回の地震で皆お困りなのが見えるだけに、色々な面がまんをしてしまいました。外傷等がなかったのですが、本当は不安でたまらなかったのですが、検診をすぐ受けられなかったこと。(かかっていた病院が診療できず、他の近くの病院は、出血等なければ後日してほしいともことだったので、)車は通行できず、電車が通る駅は何十キロあり、とにかく不安でした。又、水くみや買い物等長時間 寒い所でたちばなしであったり、もう赤ちゃんに会えないのでは…等すぐ考えてしまう毎日でした。市町村で、せつかく母子手帳を配布しているのだから、その名簿等活用して、妊婦に対するケア等できなかったのかと思います。

又、病気ではないのでということで、皆さん逆に遠慮してしまったりあると思うので、避難所等、別にあれば 食事や衛生 又、メンタルな面でも全々違うと思う。とにかく妊婦等に対する情報もずい分あとにできたので。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 1月17日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 西宮市

妊婦に対し、できるだけ心のおちつく場所やふいん気の確保。また、赤ちゃんに対し、最低必要な物(ミルク、オムツetc)の確保。

※私は、地震の日に出産し、地震の為かどうかわかりませんが、ほとんど母乳が出ず2カ月程混合でしたが、その後ミルクになりました。精神的なものもかなりあったのでは…と思っています。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 1月18日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

安心できる状態の確保(精神的に)

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 1月18日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

産婦人科の病院は入院患者、助産婦、看護婦と女性ばかりで、震災の時の避難の様子を聞き、冷静に判断、行動できる男性の力が必要なのではないかと思いました。

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 1月18日 妊娠週数: 30週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

年明けから、自宅にて、絶対安静の状態だったにもかかわらず、地震後のあとかたづけ等で、病院に行くのがおくれたことが早産の原因だったと思われます。それまでかかっていた医院から〇〇のほうへ転送され、全くわからない状態でのお産でした。早産、地震、知らない病院と、不安な中でお産をのりきることができたのは、看護婦さん、助産婦さんの、暖かい励まし、力強いそして、堂々とした態度のおかげだったと思います。また、未熟児であることがわかってきたため、小児科の先生がお産につきそって下さったことは何よりも心のささえになりました。やはり、非常事態のときこそ、プロの方々の堂々とした力強さ(抽象的ですが)を何よりも希望します。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 1月18日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

やっぱり、出産の時の費用のふたんが多すぎます。

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 1月19日 妊娠週数: 37週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

出産2日後に建物の状態が悪いということで転院させられました。入院中の診察は毎日こられるということでしたが後半は転院先の先生の診察になりました。2人目だったので退院までの予定等がわかっていたので、それ程不安もなかったのですが初めての人だったらとまどっていたと思う。転院先の婦長さん、看護婦さんがよくしてくださって助かりました。転院先の午後の空時間に借りて診察時間を設けていましたが退院の日がその日でなかったので転院先の婦長さんが見送って下さいました。病院によっていろいろな違いのあることを感じました。

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 1月19日 妊娠週数: 38週 帝王切開  
出産病医院の住所: 伊丹市

出産間じかな妊婦だけでなくすべての妊婦が安心して非難できる場所、設備を十分確保してほしい。非難場所までの交通の確保など病院との連絡がオンラインされるように。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 1月19日 妊娠週数: 39週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

私が地震直後に出産したので水もでないのによくやっていただいたと感謝しております。一言いえば水がほしいたびに看護婦さんに言っていたので部屋に容器に入った水があればよかったです。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 1月20日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

地震後水道がとまっていたので、赤ちゃんのおむつも洗えず薬局もあいてないところが多かったので紙おむつも十分に購入できない点すごく不安に感じた。神戸の方には救援物資がいくが伊丹にはほとんどなかった。

被災時住所：伊丹市 初産婦  
出産日：1月20日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：伊丹市

母子別室だったので余震の時赤ちゃんがどうなっているか不安だったので、母子同室にして欲しかった。毛布など多めに部屋にあったほうがよかったと思う。

被災時住所：伊丹市 経産婦  
出産日：1月20日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：伊丹市

ヘリコプターを使って速く病院へ入れるようにしてほしい。

被災時住所：伊丹市 経産婦  
出産日：1月21日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：伊丹市

まず自分のことよりお腹の赤ちゃんがどのようにしているかすごく気がかりになりますのでエコーとかで見ることではできなくても産婦人科医の方々が少しでも検診などにおいて声をかけてくださることだけで安心します。分娩が近い時はどこでお産ができるかの情報もいち早く知りたいです。

被災時住所：伊丹市 初産婦  
出産日：1月21日 妊娠週数：36週 自然分娩  
出産病医院の住所：尼崎市

地震の4日後に出産をしたのですが、エレベーターが地震の為、故障をし、陣痛が間隔が短くなり、階段を使用していたら、落ちそうになった。又、出産が近かった為病院の施設や機能がマヒしてないか心配だった。

被災時住所：伊丹市 経産婦  
出産日：1月23日 妊娠週数：36週 帝王切開  
出産病医院の住所：伊丹市

非常事態時こそ普通に対応してもらえたらいいと思います。

被災時住所：伊丹市 経産婦  
出産日：1月23日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：伊丹市

すぐにでも診察してもらえる病院をTVやラジオなどで教えてほしい。もし、今までかよった病院が被害を受けた場合も、近くの病院で割りあてでもして不安をとりのぞいてほしい。その為にも、市内の産婦人科の病院どうしのつながりが普段から強くあってほしいです。

被災時住所：伊丹市 初産婦  
出産日：1月23日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：尼崎市

地震の直後でまだ余震がかなりあったので、夜寝るのがとても怖かったです。家族の誰か一人でも、いっしょに部屋に泊まれたらよかったのと思います。

被災時住所：伊丹市 初産婦  
出産日：1月24日 妊娠週数：40週 吸引分娩  
出産病医院の住所：伊丹市

いざという時（急な陣痛、負傷etc…精神的なダメージ）の受け入れ体制を確実にしてほしい。

被災時住所：伊丹市 経産婦  
出産日：1月24日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：伊丹市

私は、1人目の時死産でした。それも、自覚症状がなく入院した時には（検査入院）おなかのなかで死んでいました。このように妊婦はおなかの中がよくわからないことがあると思います。

地震のような時、けが人の手当ても大事だと思いますが 婦人科には（大病院の場合）すくなくとも1人いて、妊婦の体を見てあげることも大事だと思います。見てもらえれば 妊婦の不安もなくなるはずで。実際 その日（1/17）予約を入れていましたが、みてもらえず、少し不安でした。



被災時住所：伊丹市 初産婦  
出産日：1月25日 妊娠週数：42週 自然分娩  
出産病医院の住所：伊丹市

〇〇産婦人科にずっと通院していて地震が起こり不安な中、予定日(1/10)を2週間もすぎ、その間5~6回通っていたのに、何も言われず胎盤きのうが低下していて自然分娩はむずかしい、うちでは医者も看護婦も集められないので分娩中何が起きても責任がとれないと言われ、△△病院に移され、即、入院となった。翌日出産、無事に産まれてきてくれたのでそれ以上の事はないけれど、その病院の対応のし方は許されなく、とても不安でした。

被災時住所：伊丹市 初産婦  
出産日：1月25日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：伊丹市

水、ガスの使用できない家に赤ちゃんをつれて帰れませんので、安心して退院できるよう、退院後の施設のような物をあたえてほしい。

被災時住所：伊丹市 経産婦  
出産日：1月25日 妊娠週数：41週 吸引分娩  
出産病医院の住所：尼崎市

- ・避難所等での寒さへの配慮(今回、冬の朝方 足、腰等の冷えはかなりつらかったです。)
- ・この日予定日でしたが、陣痛がなかったので、近くに来ていた救急車に乗って病院へは行けませんでした。(私が進んで行かなかったのです)不安感がありました。隊員の方達が回って一声かけて頂けたら心強く思えたと感じます。ケガ人が先決ですが、何かあってもおかしくない妊婦への心配りをしてもらえたら、嬉しかったと思います。

被災時住所：伊丹市 経産婦  
出産日：1月26日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：伊丹市

もう、妊産婦ではないのですが、子供をもっていると、非常事態の時にどのような事をしたらいいかわかりません。そう言う時に、病院などでのしどろがあればいいのではないかと思います。

被災時住所：伊丹市 初産婦  
出産日：1月27日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所：伊丹市

水道 ガスなどストップし家にも住めない状態でお腹に赤ちゃんがいる妊婦は周りの家族が災害以上に気を使いかえって妊婦が目の前にいるとみんながそれで精一杯になるので妊婦だけでもすぐに一時入院や避難できる病院がほしいです。家族が安心していただけることができれば災害など大変な時には本当にそれだけでも他のことが手につきかたずけていくことができます。妊婦としても足手まといになりません。特に私は分娩予定日時だったためいつどこで生まれてもおかしくない状態のなかテレビなどで妊婦の人さえ救急車も呼べない状態(使ってはいけない)ではとても不安でした。神戸のほうでは生後1ヵ月もたたない赤ちゃんをだいたまま避難することさえできない自宅で待機し 救急車もきてくれなくて困っているお母さんをテレビで見ました。そういう人達をもっと早く救急車やヘリコプターなどをつかって安心して育児出来る場所へ運んでくれる手段をこれから考えていただきたいと思います。

被災時住所：伊丹市 経産婦  
出産日：1月27日 妊娠週数：32週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

- ・ゆっくりと1人で眠れる場所の確保(又は同じ妊婦で)
- ・トイレの確保

被災時住所：伊丹市 初産婦  
出産日：1月28日 妊娠週数：39週 吸引分娩  
出産病医院の住所：尼崎市

今回の地震でライフラインが不通となり出産間近で体が汚れやすいのにお風呂になかなかはいれなかったので入院設備の整った病院で入院させてもらえれば良いと思います。

被災時住所：伊丹市 経産婦  
出産日：1月29日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：伊丹市

交通がストップしてしまって病院へ行きたいが行けない状態だったので電話1本でも健康状態を聞いてもらいたかった。

被災時住所： 伊丹市 初産婦  
出産日：1月29日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：伊丹市

私の場合、幸いにも出産予定していた（通院していた）病院は地震による被害はなく安心して出産にのぞむことができました。地震で他の病院からうつって来られた方もおられました。又、地震前後体調をこわしましたが、大きな病院ですので休診のときもみてもらうことができよかったですと思います。テレビや新聞などで同じ妊婦の立場として、災害の中で出産された方大変だったと思います。安心して出産、育児にのぞめる体制があればと希望いたします。

被災時住所： 伊丹市 初産婦  
出産日：1月31日 妊娠週数：40週 吸引分娩  
出産病医院の住所：伊丹市

- ・妊産婦の精神的な面のカウンセリング
- ・妊産婦の受入れ態勢の情報の拡大

被災時住所： 伊丹市 初産婦  
出産日：2月1日 妊娠週数：39週 帝王切開  
出産病医院の住所：尼崎市  
避難所のかいぜん。

被災時住所： 伊丹市 経産婦  
出産日：2月2日 妊娠週数：41週 自然分娩  
出産病医院の住所：伊丹市

- ・医療関係の情報が確保されること。
- ・非常時の援助体制の確立。

被災時住所： 伊丹市 経産婦  
出産日：2月3日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

妊婦さんは特に精神的に不安定になると思います。私自身病院が気になりすぐに電話で確認しようとしたのですが不通でしたので少し不安になり 病院を見に行き、大丈夫だったので落ち着きました。出産に際して 病院は色々な面でケアの場ですので非常時にでも連絡ができればと思います。出産当日に病院を変更するのはとても不安ですので…。

被災時住所： 伊丹市 経産婦  
出産日：2月4日 妊娠週数：36週 自然分娩  
出産病医院の住所：伊丹市

精神的ショックがかなり大きいため 不安に陥りやすくなるので必ず検診日以外でも検診をうけられるようにしてほしい。  
(異常がなく自覚症状がなくても)

被災時住所： 伊丹市 初産婦  
出産日：2月6日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：尼崎市

- ・病院の確保や新生児のための衣類などの援助。
- ・妊産婦が安心して出産できるための心のケアなど。

被災時住所： 伊丹市 初産婦  
出産日：2月8日 妊娠週数：37週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

今回ライフラインといわれる水道やガスの供給停止にともなって食生活が大変悪くなりました。妊婦としてこんな食生活で大丈夫だろうかと不安な毎日でした。非常時にバランスのとれた食事などはとても難しいと思いますがどうかかならないものかといつも思っていました。

被災時住所： 伊丹市 経産婦  
出産日：2月8日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：尼崎市

今回神戸の〇〇病院のように診療が無理ならば妊婦電話様で状態を説明しその他の病院にかえるようにする。その際、今までのカルテを次の病院にファックス等で送れば妊婦も次の先生も安心して診療ができるので。

被災時住所： 伊丹市 初産婦  
出産日：2月10日 妊娠週数：40週 帝王切開  
出産病医院の住所：尼崎市

近くの小学校などの避難所で早く検診などが受けられるとよいと思う。

被災時住所： 伊丹市 初産婦  
出産日：2月12日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：西宮市

出産に対して何の不安もない様な万全の医療体制。

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 2月14日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

- ・精神的にも不安な時期なのでささいなことでも不安になってしまうのでそれをちょっとでも聞いてくれるような電話相談など。
- ・紙おむつ、粉ミルクなどの無料配布。

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 2月14日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

妊産婦の方々の安全に避難する場所の確保とともにいかにそれらの場所を伝えられるか。ひごろからの情報を正確に伝えておく必要があると思いました。

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 2月14日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

何かあったらすぐに大きな病院に入れるように、どこかの病院を全部空室しておく。ちょうしが悪くなくてもすぐに妊婦はその病院に行けるように、不安をなくすために、食べるものはきちんと。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 2月14日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 加古川市

トイレに困った。(水が流れなかったり、こわれたりしたため。) トイレをさがして歩いたため、おなかが張ってくる。座る所もなく立ちっぱなしでしんどかった。トイレや、やすめる所などがほしい。食料品の買いだめの人が多く近くではかえないコトがあった。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 2月15日 妊娠週数: 40週 帝王切開  
出産病医院の住所: 伊丹市

ミルクや紙おむつの援助。

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 2月15日 妊娠週数: 35週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

電気、ガス、水道をすぐ確保できる体制を備えておいて欲しい。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 2月15日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

病院の受け入れ態勢が気になりました。受け入れできない場合等は他病院の紹介等をしていただければ安心かと思います。

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 2月15日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

妊娠中ってというのは常に精神状態が落ちついていないと思います。目に見える異常のない妊産婦にも話を聞いてもらえることで落ちつくことができ 不安をかいしようすることもできると思います。

私自身地震後、上の子とお腹の中の子をかかえての不安な心の中を誰かに打ちあけたかった。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 2月16日 妊娠週数: 38週 帝王切開  
出産病医院の住所: 伊丹市

- ・なるべく早く仮設病院を建てる。(妊婦専用産婦人科のみの)
- ・一番困ったのは、お風呂、仮設のお風呂を設置してほしい。これも妊婦専用。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 2月16日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

- ・他の地域で正常に機能している病院の紹介を行い、何かあった時はすぐ その病院へ行けるようにしておく と 精神的に安心できる。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 2月16日 妊娠週数: 38週 帝王切開  
出産病医院の住所: 尼崎市

病院独自のライフラインの確保

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 2月16日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

断水になった際の対応について 考えて頂きたいと思います。給水に行っても 家まで妊婦がお水を運ぶのには 体に負担がかかります。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 2月17日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

今まで通っていた病院に行けなくなることもあるので、他の病院での受け入れ体制をスムーズにしてほしい。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 2月18日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

- ・まず無料でみてほしいです。
  - ・すぐ診てもらい安心させてほしい。
- どのような状況でも医療機関はスムーズにいくようにしてほしい。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 2月18日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

マンションでエレベーターが止まり(4日間)のぼり降りがしんどく、家の片付けもできないが、避難所へ行かなければならないほどの建物への被害はない。また避難所へはいきにくい。そのような時に行ける所、泊まれる所がほしかったです。

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 2月19日 妊娠週数: 39週  
出産病医院の住所: 尼崎市

妊婦は重い荷物を持ちたりからだを冷やしたりするなはよくないといわれています。でも水を確保するために無理をしないとけなかつたり避難所といっても夜になるととても冷えてきたりと体にとってあまりよいものとはいえません。そのような面でなにか考えてもらいたいと思います。(私も避難所へ行くことを考えたけれど冷えの問題などを考えるとやはり行くことが出来なかった)

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 2月19日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

1/17~2/初め迄、水が出なかったため、バケツに水をくんで、3Fまで何回も運びました。それで、よくお腹がはりました。小学校で水をもらえと言っていましたが一入1ばいまでで、乳児のいる人は、補入ビンも洗えなかったのではないのでしょうか。母乳のまったく出ない人は、どうしていたのでしょうか。お店へ行っても、水は、売っていなかったのも、お風呂にためた水を、わかして、飲んでいました。子供が産まれる前で、本当によかったと思っています。

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 2月19日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

どこにいても、出産が可能のように、分娩バスのようなものがあれば良いのでは...

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 2月20日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

非常時に治療できる産院等の情報。

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 2月20日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

母子の安全を第1に考え、いかなるアクシデントにも対応できる様、各病(医)院が連絡を取り合い、途中で病院が変わったりしてもこれまでの妊婦の状態等が充分把握できる様な病院関係にして欲しいです。

又、非常事態後の妊婦は不安で一杯です。心のケアも必要であると思います。身体的な面だけでなく精神的な面にも触れてフォローしていただきたいです。

被災時住所：伊丹市 経産婦  
出産日：2月20日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：尼崎市

地震のあと食料事情が悪くなり、体重が減り、赤ちゃんのことが心配だったのでこれは、妊婦に限ったことではありませんが食料の確保とそれから、出産予定の病院が何日間かガス、水道が出ず、無事に出産できるのか心配だったのでその時通っていた病院がダメなら他の病院でも早い時期に、ここなら安心して出産できるという病院を紹介してほしい。

被災時住所：伊丹市 初産婦  
出産日：2月21日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：明石市

子供が生まれる前に地震にあったので不安等ありまた主人が会社へ出かけ4泊程帰れなくなり主人の実家に世話になりました。大変物音にびんかんになっており夜になると怖かった。でも居まいして思えば子供がいたらおむつ、食事など数え切れない程の援助を必要とすることが身にしみる。地震の時離乳食やミルク、おむつ等をもっともって物資として必要であると放送すべきであると思う。

被災時住所：伊丹市 経産婦  
出産日：2月21日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：伊丹市

災害時は、交通手段が寸断される中、病院への搬送は重症者が優先となります。比較的軽症者の治療の指示や応急対応してくれる病院紹介等のため、緊急時の電話相談センターを設置してほしい。連絡回路の確保をお願いします。

被災時住所：伊丹市 初産婦  
出産日：2月21日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：神戸市北区

- ・仮設住宅など優先的に入居できれば良い
- ・お風呂などに入れないと衛生面で不安になる。
- ・精神的にも不安定なので、配慮が欲しい

被災時住所：伊丹市 経産婦  
出産日：2月21日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：尼崎市

とにかく、すぐにでもお腹の子の無事を知りたかった。が、実際には、交通の便がなかったり、私自身地震の恐怖で外出がおそろしくなり、臨月に近いお腹をかかえて混乱した街中を歩く勇気がなかったの  
で、まわりが落ちつくまで 病院で受診できず、不安な数日間を過した。何かあったか すぐに 受診できれば、どれだけ安心できたかと思う。

被災時住所：伊丹市 初産婦  
出産日：2月22日 妊娠週数：38週 帝王切開  
出産病医院の住所：宝塚市

- ・衣服などを多く用意してほしい。
- ・ねる際、少しは下に、保温性があるものやマットをひいてほしい。

被災時住所：伊丹市 初産婦  
出産日：2月23日 妊娠週数：39週 帝王切開  
出産病医院の住所：伊丹市

おかげさまで大きな被害をうけませんでしたのでよくわかりませんが保健センターなどで専門の方が電話相談などをしてくださると心強いと思います。病院の被害状況やちょっとした体の変化などについてアドバイスをいただけると嬉しいと思います。

被災時住所：伊丹市 初産婦  
出産日：2月23日 妊娠週数：41週 帝王切開  
出産病医院の住所：伊丹市

出産後の水やおむつなど、困らないように。

被災時住所：伊丹市 経産婦  
出産日：2月23日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：洲本市

人によると思いますが精神面のケアが大事だと思います。知り合いで産後、小さい子供がいるのに地震が来たらどうしようと思ひ、ノイローゼ気味の人がいました。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 2月24日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

清潔が必要とされるので、入浴等の情報を、流してほしいと思います。また、近くに頼る人のいない場合、不安がつるのでそのような場合の対応を検討して頂きたいです。

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 2月26日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

避難所ではひえたり、ストレスがたまるので病院などでゆっくりくつろげる場所があればいいと思います。

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 2月27日 妊娠週数: 35週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

一人目が早産で二人目もそのようになると予想されていました。もし自宅で生まれそうになったときなど不安です。今回伊丹市でとくにひどい被害はありませんでしたが神戸などのように被害が大きいときは精神的な不安がふつうの人より大きくなると思うので(実際おきかかったとおもいます)定期検診以外にも特別にみてもらえたりすると少しでも不安がぬけるのではと思う。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 2月27日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

腰が痛むことがあったので毛布などよりもクッションなどがあればうれしいと思います。妊婦は栄養が必要だと思いますがインスタントラーメンよりもおじやの方がまだ栄養がありアレルギーがある人などは特に必要なのではないのでしょうか。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 3月1日 妊娠週数: 39週 帝王切開  
出産病医院の住所: 伊丹市

とにかく不安なのですが病院は混雑しているし待つのもたいへんだし特に異常を感じないのに行っては悪いように感じて決められた日にしか行けなかった。バスも動いていなかったのでタクシーで行ったりふだんよりつかれて気もつかってそして待つこと2時間… など、いつもより先生が多くいてくださればと思いました。質問だけでも受けてもらえるところがあればもう少し安心できたかもしれません。

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 3月2日 妊娠週数: 39週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

災害とは無縁ですが、私の友人が3年前8カ月早産でしかも自宅で出産してしまい、赤ちゃんはそのような設備のある病院を探すのに時間がかかったせいか、今でも障害をもっています。哺育器の空きなど、いろいろな病院の設備がすぐわかるような病院どうしの横のつながりをしっかりとしてほしいなあと思います。

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 3月3日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

- ・医療機関への連絡方法(病院から妊産婦へ連絡をするなど)
- ・災害などの理由でかかった治療費や出産準備の援助。

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 3月3日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

避難所には赤ちゃんのためのミルク、紙おむつなど十分に確保されているかが必要だとおもいます。母親は自分よりまず赤ちゃんのことを大切に思うはずですが、赤ちゃんがおなかをすかしていたりして泣いているのにどうもしてあげれないとするとそれは母親にとってもとてもつらいことですから。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 3月3日 妊娠週数: 39週 帝王切開  
出産病医院の住所: 赤穂市

できるだけ被害地域から離れて生活するほうが、精神的に良いと思う。

被災時住所：伊丹市 経産婦  
出産日：3月3日 妊娠週数：37週 帝王切開  
出産病医院の住所：伊丹市

早産、破水等の大きな異常がなくても、心身共に不安定になっている人が多数いると思うので、状況が許せば、病院から電話で妊産婦の状態の確認、又は、テレビ・ラジオ等で妊産婦向けの情報を流すなどしてほしい。

被災時住所：伊丹市 初産婦  
出産日：3月6日 妊娠週数：40週 吸引分娩  
出産病医院の住所：伊丹市

緊急時の病院をいくつか、あらかじめ教えてほしい。その時に必要なもの等のリストを配付してほしい。

被災時住所：伊丹市 初産婦  
出産日：3月6日 妊娠週数：40週 吸引分娩  
出産病医院の住所：伊丹市

天災などで、急に、体に、異常を感じた場合の検査費は、家の損害とは関係なしでお産や、通院費も、何%か、割引してほしい。今回の場合は、家などの建物とは別に、家の中の損害も、大きかったと思うので…

被災時住所：伊丹市 経産婦  
出産日：3月6日 妊娠週数：39週 自然分娩  
出産病医院の住所：伊丹市

心理的な不安が大きいので、(ただでさえ、いつ生まれるかという緊張感をもっているのに)物資、水などももちろん必要ですが、精神面での対応もしてほしい。

被災時住所：伊丹市 初産婦  
出産日：3月7日 妊娠週数：37週 吸引分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

・入浴施設…寒い冬だったので特に思ったかもしれませんが体が冷えてよくお腹が張った様に思いました。ようやく銭湯が開いたと思っても1時間～2時間待ちでつらかったです。

被災時住所：伊丹市 初産婦  
出産日：3月8日 妊娠週数：36週 自然分娩  
出産病医院の住所：伊丹市

非常事態から診察日の間が長い人や出産予定日の近い人に関しては、どのような状態になるのか、不安な気持ちが強いので、電話していただけたら、良いと思います。もし、家族、夫と2人で初妊産婦さんで、自分の体の異常に気付かなかつたら…と思うと怖いです。

被災時住所：伊丹市 初産婦  
出産日：3月9日 妊娠週数：40週 自然分娩  
出産病医院の住所：尼崎市

受け入れれば良いと思います。

被災時住所：伊丹市 経産婦  
出産日：3月10日 妊娠週数：39週 帝王切開  
出産病医院の住所：伊丹市

私の場合は実家と病院とも西宮だったので地震後に出産を控えていて上の子を実家に預ける予定が家が半壊で預けられなくてとても困りました。2人目、3人目の出産は上の子が必ずいるので預ける施設をなんとかしてもらいたいと思いました。出産した病院では手術の日を主人の休みの日にあわせてくれたし、上の子がいるので入院を最低限にして下さって助かりました。他の病院でもやってもらいたいと思います。

被災時住所：伊丹市 経産婦  
出産日：3月11日 妊娠週数：38週 自然分娩  
出産病医院の住所：宝塚市

実際に地震を経験したときは妊診中だったので自分自身や家族には幸いケガもなくじゅうきよも少しひびが入ったり家具が倒れた。食器が割れた等いわゆるかるいほうだったなと思うので実感としては妊婦だからどうかはなかったのですがもっとひどかったのであれば、やはり自分の力で普段のように行動するにはむづかしかったと思います。そうだったならばやはりおとしよりの方、子供に次いで優先的に精神的 肉体的不安を少しでも軽くしてもらえようような援助が必要だと思います。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 3月12日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

やはり、妊婦は清けつにしておきたいので、お風呂などは、入れるようにしてほしいです。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 3月13日 妊娠週数: 42週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

私の場合は、たいした被害はありませんでしたので、実感していませんが、きっと、物質面、たとえば、避難所などの毛布であるとか、食料であるとかいうものは、もちろんですが、ただでさえナーバスになりがちな妊産婦にとっては、精神面のケアが、大切なのではないのでしょうか。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 3月13日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 川西市

断水の場合、団地・マンションの4階以上に住んでいる妊産婦の家もしくはその階まで水の運搬等、支援できる態勢をとって欲しい。(ホースを持ってきて、配水するかの手段で)

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 3月15日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 尼崎市

今回は私のちいきは大きな被害がありませんでしたので余り不安はなかったですがやはり妊婦の時はいつもより行動もきびんにできませんし主人は朝でると夜しか帰らないし1歳半の子供をつれていましたし次にまた地震がきたらどうしたらいいだろうかということはずっと思っていました。

(次の地震)そんなときでも事前に知らせておくとすぐ誰かが見に来てくれるような団体があればいいと思いました。それは1人で住まれているお年寄りの方もそうだと思います(かく地域ごとに)

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 3月15日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

非常事態で通常の診療ができないとしても、せめて、状況の説明などはして欲しい。何も説明がなく。(心身共に、必要以上の苦痛を感じて大変な思いをしたので)

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 3月16日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 明石市

災害前に通院していた病院でなくても、災害後早めに検診を受けられるようにしてほしい。

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 3月16日 妊娠週数: 37週 帝王切開  
出産病医院の住所: 伊丹市

妊産婦には精神面でのケアが必要だと思います。私も地震以来、半月ほど断水状態が続き、いつ、どこで水がもらえるのか情報が入ってこないのが、不安で仕方ありませんでした。こわくで外にも出れず、避難所の方々よりもひどい食生活の為、むくみが増え、精神的にも落ち込みました。検診を受けている病院からでも、電話で体調の問い合わせがあればもう少し、精神的に楽だったかも知れません。(病院は被害がなかったのですから)

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 3月17日 妊娠週数: 41週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

検診はもちろんの事ですが精神的安心感を与えて欲しいと思いました。妊婦も大変だけど胎児も頑張っているのよというはげましも…これは医療の方でなく誰からも声をかけて欲しいですね。それとかたよらない食事と寝れる場所…でもこれは非常時にはむづかしいですね。

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 3月17日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

最低限の必要な事や物を早く援助してほしい。

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 3月18日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

援助ではお風呂、下着、妊婦用品、妊娠しているときは清潔が一番なのでこの3点は食料、衣類とともに早く欲しいものだと思います。食料、衣類を早く被害地へ送るのではなくいろいろの人達に対する物を同時に送れば良いと思います。



被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 3月20日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

ミネラルウォーターやミルク 離乳食の援助が欲しい(すぐに)水道水や牛乳ではなく、特にアトピー性皮膚炎の子供がいるのでアレルギー用のミルクや食事などきめの細かい援助をお願いします。特に産前産後は外出が困難なときなので希望者には援助物資の配達や往診していただけたらと思います。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 3月20日 妊娠週数: 40週 自然分娩  
出産病医院の住所: 川西市

どこの場所でもいいから、まず異常がないか診察してほしいので、病院側から連絡してほしい。

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 3月20日 妊娠週数: 37週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

水道が使えない時の水の配給(自宅、もしくは近くまで)  
今回の震災で、主人の仕事を失い、就職もなかなかできず、かなりの預金を持ち出して生活していたため、出産費用がでなくなり、市の福祉事務所にも何度も足を運んだが、震災後の出産については特別なものも、なにもなく、震災前からの出産費用等の援助も震災前の市民税等からのものを見てのしん査で、何もしてもらえず、借金して出産した。交通費を使い、時間を使い、イライラして、何もしてもらえませんでした。もう少し、何かしてほしい。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 3月20日 妊娠週数: 36週 自然分娩  
出産病医院の住所: 宝塚市

今回、私自身、妊婦生活(痛院etc.)で困る事は、なかったのですが、よく分かりませんが、どの病院もたいへんだったと思いますが、子供というのは、強いものだと思いました。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 3月20日 妊娠週数: 38週 帝王切開  
出産病医院の住所: 尼崎市

被害を受けた人を早急に見つけ医療費などの援助を早急に行い薬品を(今までよりも)すばやく手配する事など。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 3月21日 妊娠週数: 39週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

交通が不便になるので、先生が家に来てもらえるようにしてほしい。

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 3月22日 妊娠週数: 36週 自然分娩  
出産病医院の住所: 伊丹市

非常事態の直後診察予定になっていない時でもすぐに診察できるようにしてほしい。又精神状態が元にもどるまでたびたび診察していただければ安心できるのではないかと思います。

被災時住所: 伊丹市 経産婦  
出産日: 3月23日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 神戸市北区

とにかく水がほしかった。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 3月23日 妊娠週数: 29週 帝王切開  
出産病医院の住所: 伊丹市

妊婦は思い物やムリ(物をもらいに行ったり)な事は出来ないの、食べ物や水くみの援助を少しくらいしてほしい。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 3月25日 妊娠週数: 38週 自然分娩  
出産病医院の住所: 川西市

- ・病院の近くに産婦人科施設などをつくりいつでも先生・看護婦さんがそばにいてくれる…安心感がもてると思います。
- ・24時間相談に応じてくれる。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 3月27日 妊娠週数: 39週 吸引分娩  
出産病医院の住所: 川西市

分娩が必ずできる。

被災時住所: 伊丹市 初産婦  
出産日: 3月27日 妊娠週数: 37週 帝王切開  
出産病医院の住所: 伊丹市

- ・安心して休息できる場所や十分な(バランスのとれた)食事の提供。
- ・十分なDrや助産婦による診察及び相談のできる態勢づくり。